臺灣日日新報

本日十二頁

編輯兼發行人 野前若 發行所 臺北市榮町 臺灣日日新報社

本紙一部五錢・一ヶ月金壹圓參拾五錢・六ヶ月同八圓・壹ヶ年同拾六圓 定價 前金 郵稅・日本內地及支那地方送料不要

廣告料 普通 一行金壹圓 特別 一行金貳圓 記事中挿込 一行金五圓

振替口座臺北二〇番 電話 代表番號二八〇〇 編輯用二八〇四 營業用二八〇五 運動部 四八二 電信略號 タヒ

昭和十年一月一日ヨリ第二十回定時株主總會終了迄株式ノ名義書換ヲ停止候也
昭和九年十二月三十一日
高砂麥酒株式會社

望・と御指命 印刷所へ

名刺の御用は 精美堂へ
本町二丁目中瑙 電三六一七

筆ペン 鉛ボ

ショウチクバイニ グリコノ ワスレモノ

寒さの要心に まつ此の一本

醫専棒狀(半分計) 體温計の元祖 仁丹
人溶解付ガラス
絕對正確に半分で計れる これ以上なき最高級品 本品初めて四十二ヶ國に進出の名譽の國産品
病院醫家御採用
東京大阪 森下博藥房

大阪商船 基隆出帆 神戸行 高千穂丸 一月九日 後四時發 瑞穂丸 一月十四日 後四時發 蓬萊丸 一月十八日 後四時發

近海郵船 基隆出帆 門司神戸行 大和丸 一月七日 後四時發 朝日丸 一月十二日 後四時發 吉野丸 一月十六日 後四時發

辰馬汽船 出帆 內地行 桐葉丸 一月上旬 基隆發 宮殿丸 一月下旬 基隆發

大連汽船 基隆出帆 大連直行 山西丸 一月七日 後五時發 山東丸 一月十四日 後五時發
代理店 丸一組 基隆電話 高雄電話

謹賀新年
今年も亦産業振興の第一線に立ち古き信用と新しき新聞廣告の効果増進を信條とし邁進可仕候間倍舊の御引立を奉願上候
昭和十年新春
大阪市東區瓦町三丁目
旭廣告株式會社
出張所 東京市京橋區銀座 西六數寄屋館內

昭和十年度 第一回 速記大學給費生募集
速記術は言葉の寫眞術也 本給費生は學資不要 自宅修學 修了者を全國新聞ラヂオ其他官界民間有名の速記者に養成就職せしむ 收入最大 小中女卒以上 詳細郵二錢要 東京世田谷下代田 速記局

京都女子高等專門學校
本科 國文科 英文科 二〇〇名 家政科 技藝科 五〇〇名 豫科 國文科 英文科 四〇〇名
願書受付 二月一日ヨリ 特典 入學許可 京都市東山七條 入學要項内規(三錢郵券) 成績試驗ニヨリ別ニ學科試驗ヲ行ハズ 本科卒業者ハ各科共中等教員免許狀ヲ受ク

鈴江特許法律事務所
東京市小石川區江戸川町壹 電話 小石川 (85)四六八八
臺灣の各位には御便宜を圖ります
所主 辨理士 鈴江近太郎 辨理士 鈴江長次郎 辨護士 雨宮熊雄 元裁判官 寺西勝太郎
大東工學士 京工學出身 技術 鈴江一成 梅村誠平 外數名

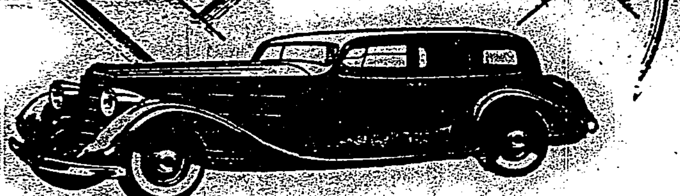
止血劑 トロムボゲンジ
本劑注射後凝血促進作用は三十分に發現し作用最盛期は三時間持續し六時間以上奏効し最大短縮率は二十%なり
一般藥業者に取り次ぎ販売致します
皮下注射用
2.5cc. 6管入 2.00
2.5cc. 50管入 14.00
5.0cc. 6管入 3.00
5.0cc. 50管入 21.00
10.cc. 6管入 4.50
10.cc. 50管入 34.80
株式會社 藤澤友吉商店 大阪東區道修町・東京日本橋本町
2T15

胃痛に 腹痛は 安川コロダイン

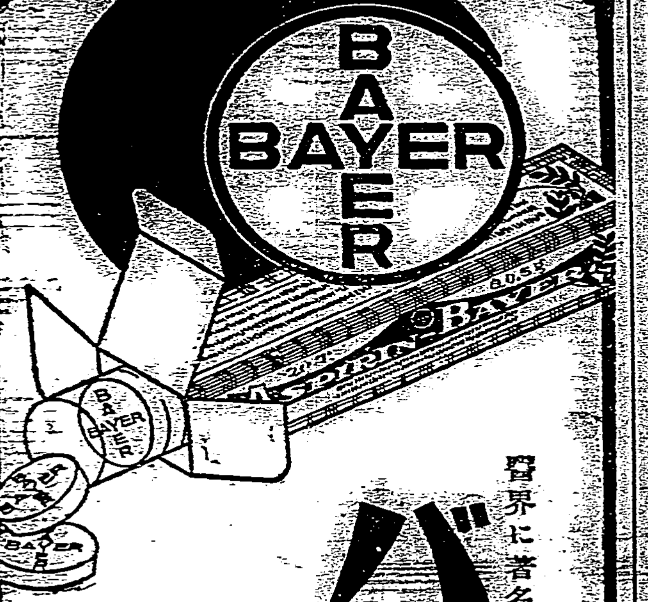
菊正宗
宮內省御用達
本嘉納商店

夜道のガイド ナショナルランプ。

活動の年! 飛躍の年!
何時でも清々しい寛いだ新鮮な氣分
それがナッシュの車室の特徴 窓を開けずに換氣のできる獨特の裝置を有する車室は
御仕事の能率を倍加させ貴下の飛躍を援けませう
ナッシュ



臺北代理店
浪花商會
臺北市表町二丁目二番地



醫界に著名
胃障碍を伴はざる
バイエルアスピリン
著名なる優秀品にして、その化學的純正なることは夙に世界各國の醫界に承認せらるゝ處、アスピリン處方の際、バイエルアスピリンを應用するに於ては決して胃障害を惹起することなきを特長とす。
錠 二錠入(二四錢) 六錠入(五八錢) 二〇錠入(一圓五〇) 末 二五瓦(二圓四〇)
Bayer-Meister Lucius
バイエル・マイステルルチウス藥品合名會社
神戸局私書函第一〇七號
34-1247(O)

親愛に水引かけて 赤玉ポートワイン
補血 强壯 ぶどう酒

置けば置く程品のよくなる 赤玉

他では追從できぬ 最も進んだ研究 最も近代的の香味
全國五個每に新品一個と御引換中
お小さな仁丹の齒磨
仁丹歯磨 廿五錢・卅五錢・五十五錢

廣告は宣傳の近道なり

ツヨク ナル エラク ナル ホンタシアメ

去勢雞の雞冠發育によるホルモン檢定法によりアンドロスチンを與へたる去勢雞(向て左)と與へざる對照去勢雞(右)

強力男性ホルモン アンドロスチン
―嚴密なる檢定の下に効力を一定せる―
青春の源泉 活動の要素
新鮮なる動物の雄性生殖腺より其水溶性及脂溶性の全有效成分を完全に抽出し効力を一定せる進歩せるホルモン製劑にして精力・腕力減退、精神力衰耗、生殖器衰弱、早老症、性的神經衰弱等に適用す。
定價(錠劑)・(注射)
文獻は大阪市東區道修町二丁目三和ビルヂング內武田バーゼル化學工業株式會社日本橋營業所より贈呈
日本總代理店 發賣元 株式會社 武田長兵衛商店 杉村商店 東京・大阪
10-1

母乳のない赤ちゃんも大印を飲めば母乳のやうにすくすく育つ
中乳ヤニコーモナルトロを母乳のやうにすくすく
N.12
大印 滋養糖
和光堂

御禮 香菜 土井ヨシノ

何處までも聯盟は日本の協力を希望
思ひ切の悪い聯盟諸邦

【ゼネバ三日發日本社特電】聯盟筋の情報に依れば日本の南洋委任統治の將來に關する聯盟は一面完全に聯盟脱退後の委任國としての日本の立場を公認すると共に他面日本が惡しき先例となることを極力避けんとする意嚮である、即ち右聲明の形式は規約第一條第三項による脱退は昭和十年の一九三五年三月二十七日以後に於ても出來得る限り法理上日本を聯盟加入國と看做す方法を講ぜんとしてゐるもの如し聯盟としては日本が脱退通告後完全に規約上の義務を履行したりや否やの問題を檢討することなく日本を委任國として引續き委任統治委員會との協力を希望してゐるからである

波瀾を豫期さるる委任統治委員會
日本に挑戰的質問か

【ゼネバ三日發電通】日本の國際聯盟脱退は今年三月二十七日を以て效力を發生するが同時に委任統治委員會は左の如き報告を來る十一日の理事會に提出して日本の南洋委任統治領における挑戰的質問をなすと共に日本の貿易的利益を南洋土人に比較せしむべしとの意見を表示する筈で委任統治委員會としてかかる報告書を提出することは未曾有のこととして多大のセンセーションを豫期されてゐる右報告は日本に對し左の四項の條件を要求してゐる

一、日本は從來以上に詳細な年次報告を委任統治委員會に提出すべし

二、委任統治領に適用さるる總ての國際的計畫のリストを發表すべし

三、委任統治領内諸施設に費消された費用の明細を發表すべし

四、土人の財産と富の增進方法を示すべし

なほ右報告に依れば南洋貿易にかける利益は輸出が遥かに輸入を超過しその大部分は日本の貿易會社の獨占する所であつたと言ふ尚ほ日本の委任統治の將來に關する理事會の報告はチェッコスロバキア代表ベネシュ氏がこれに當る筈である

南洋委任諸島の年報は聯盟へ報告
聯盟脱退後も引續き

【ゼネバ三日發本社特電】來る十二日の聯盟理事會に於て日本の聯盟脱退後の南洋委任統治問題に關し報告するチェッコスロヴァキア代表ベネシュ氏は二日他の理事國代表と非公式會見の後、左の意見を洩らしたと云ふ「日本は來る三月聯盟脱退前か若しくは大同盟か聯盟總會か理事會に完全に脱退するであらう、併し假令日本は聯盟加入國たることを止めても聯盟規約第二十二條第七項による委任國としての義務たる委任統治施政に對する年報は引續き提出するであらう」

我が委任統治を公認するが當然
霞ヶ關當局の觀測

【東京四日發】今年三月二十七日をもつて我國の聯盟脱退が效力を發生せる後に於ける我が南洋委任統治問題に關し國際聯盟に於ても十一日の理事會において我國が聯盟の委任統治委員會に對して委任國としての任務を履行することを前提としてこれが繼續を公認するであらうとの觀測に關しては我外務當局は簡明なる觀測である

と左の如く觀測してゐる

一、南洋諸島が我國の委任統治に歸屬すべきことは聯盟の決議に依り決定せるものでなく聯盟規約以前の主要聯合國會議に依つて決定されたもので聯盟脱退に依り委任統治を喪失すべき理由なし

一、從つて聯盟理事會が我國が南洋委任統治を繼續すべきことを公認するは當然の措置である

一、我國は脱退後も委任統治國として聯盟に對し年次報告を提出する方針なるが我國の統治の公正なることを疑ふ如き報告乃至質問に對しては必要なる限りこれを反駁し一蹴することとならう

御風邪の天皇陛下
近々に御床拂ひ

【東京四日發】天皇陛下には御風邪の御氣味にて先般來久しく御靜養中であらせられたが御床拂ひも近々遊ばされることとなつた由拜承されたが宮相、鈴木侍從長、本庄武官長等側近者間には陛下御全快後に御靜養のため來る二十三日の葉山御用邸に行幸を仰ぎたき希望あるもあるから若し行幸遊ばされてはとの意見もあるが御全快後ならば本年一月中旬行幸はせらるる筈で何れにせよ宮内省では陛下御床拂ひを待つて正式に御決定の筈である

國運の消長に重大關係ある問題
政府重要政策の處理
既成政黨の局面打開

【東京三日發】内外重大問題の豐富なる昭和九年の政界の後を承けて昭和十年は愈々一九三五年の國際的非常時代第一年に入り政界は益々緊張を加へると共に前途に重大なる懸念され、休會明け議會における政府對政友會關係の重大なる難局を控へ政府は如何に處理して行くか、既成政黨が局面打開のために如何なる活動をなすかは、ともに我が國運の消長に重大な關係あるのみならず、既成政黨の運命をもかけたる意義を持つものとして最大の關心が拂はれてゐる

松平佐藤兩大使の"重要會談"

【ロンドン三日發聯合】パリ駐劄佐藤大使は三日午後七時ロンドンに到着したが數日間滯在して松平駐英大使等と共にワシントン條約廢棄通告後の政治工作を中心として重要打合せを遂げる筈である

政友會の對議會策

【東京四日發】政友會では來る九日初總務會、翌十日初幹部會を開き大會の日程及び對議會策に就き協議の豫定であるが大會は大體二十日となるべく然して國務大臣の施政演説に對する質問要項は目下の所

一、國政一般

二、財政經濟問題

三、災害救濟の再檢討(追加豫算問題)

四、農村問題

五、綱紀問題(主として大槻疑獄問題)

となり政府に誠意の認むる能はざる時は斷乎これを糺彈する強硬方針をもつて臨まんとしてゐる質問演説者に就ては鈴木總裁を第一線に立つべしとの主張もあるが要求の説明なら兎に角施政演説の質問は他に讓り寧ろ久原房之助氏を第一陣に送るを得策となし又財政問題は山本悌二郎氏を推してゐるが兩者とも出馬を肯ずる意向がないから結局臨時議會の際政府質問の演説を遣つて島田總務が第一陣に立つこととなる模樣で、次に財政問題は大口喜六、堀切善兵衛、島田俊雄、安藤正純、名川侃市氏等の演説を選つて議場に政府の非違を追究することになるものと見らる

初閣議は八日に開催

【東京三日發電通】四日政始の御儀が御取止となつたので、同日宮中において行はれる筈の初閣議は行はないことになつたので政府は來る八日首相官邸に閣議を開き本年の初顔合を行つた上拓殖地振興豫算を始め各特別會計豫算を附議する筈、尚臺灣島の組織構成の詳細は十一日の閣議に上程の筈

議會解散の空氣漸次濃厚
政界もために緊張

【東京四日發】政府對政友會の對立は過般の臨時議會の豫算審議を契機としてその正面衝突は不可避なりとの見解より政界一般は早くも解散氣構へとなり頗る緊張を呈してゐる、これに對する政府側の態度を見るに岡田首相としては政友會に對し全く強硬態度を持して居り政友會が徒らなる政府苛めより不當なる態度を續けるならば斷乎として政界淨化のため解散を斷行すべしとしてゐるので政友會の出様如何に依つては解散は免れぬものと見られる、閣内にあつては町田、松田の民政系出身閣僚は飽くまで解散に贊成であり高橋藏相及後藤内相等の官僚派も強硬論で床次、山崎、内田等の床次一派は依然自重的態度をもつて臨み必ずしも解散回避にはあらざるも出來得べくんば政友會の山本條太郎、前田米藏、望月圭介氏等の穩健派の力を動かして國策審議會、國策樹立等に依つて無事乘切りを圖る持論で兩者の構へをなして今後の推移に注目されてゐることは頗る注目に値する、床次遞相等は臨時議會終了と同時に解散に備へての準備工作を開始し既に相當の準備を完了したと言はれてゐる然し新黨樹立運動が政友部内の事情より見送り狀態にありそれ以上に出ることは未だ困難とされて居るので局面打開は鈴木總裁の所引如何に依つて決するものと言へよう、然して議會に臨んでは帝人事件を廻り小原法相が窮地に立つが如き場合も考へられ其他軍部經費增額問題等解散の材料は頗る豐富であるのでその成行は全く逆睹を許さぬ狀態で時日の推移とともに政界の緊張は益々加はるであらう

佛伊の協定は世界平和が目的

【パリ三日發電通】フランス外相ラヴアル氏は近く調印さるべき佛伊協定に關し左の如き聲明を發表した

佛伊協定は兩國の親善を基礎に世界平和に貢獻せんための工作であつて世界平和の保障には各國民が親和協力することが最も必要である

佛伊間に協定の議定書は骨拔

【パリ三日發電通】オーストリアの獨立保障に關する佛伊協定議定書はフランス外相ラヴアール氏が三日ローマに赴き六日調印することになつてゐるが右議定書は期待に反して骨拔きとなり實際上は殆ど達成する所がないと言はれてゐる

一、根本的意見相違の點ではオーストリアの地理的隣國とソヴエット・ロシア、フランス、ルーマニア、イタリーの要求で追加されたポーランドとの間の將來における商議に委ねられた

一、國境の相互保障の規定並に暴動的運動を支援せざる旨の確約は聯盟規約第十條を範として緩慢に起草されてゐる

一、若し調印前に不測の出來事がオーストリアに勃發した場合には前記諸國が商議する事とする

一、小協商國は特にトルコに對し發言權を與へた關係で商議始まる時全要求を表明する自由を保留してゐる

佛伊ラヴアール外相がオーストリアの獨立に關する佛、伊議定書に調印することに決定したことは四國

四ケ國協定を擴張か

【ローマ三日發】確實なる筋よりの情報に依れば三日よりローマにて行はるる佛外相ラヴアル氏とイタリー首相ムッソリーニ氏との會見においては四ケ國協定を擴張してユーゴースラヴィア、チェッコスロヴァキア、ルーマニア三小協商國及びソヴエート聯邦をも加入せしめる計畫ありと云はれてゐる、(この計畫は中歐)經濟の復活を可能ならしめ其の結果フランスがソヴエト・ロシア及び小協商國と協力することを困難ならしめるべく佛、ソ、小協商國聯盟のフランス從來の外交方針は重大障害に直面することとなつた

北鐵讓渡交涉
大綱は彼我の意見が一致

【新京二日發電通】一日赴任した星野滿洲國總務司長は一月四日より國務院外交部、財政部、交通部の關係首腦者との間に北鐵交涉に關する最後的打合せを遂げたる上再び上京することとなつたが氏は語る

北鐵交涉は日本政府の斡旋に依り大綱において彼我の意見一致を見た、殘つた問題は日本政府の保證方法であるが、これとてソヴエット聯邦側の讓步に依り遠からず解決を見ることと信ずるが交涉成立から調印までに少くとも廿日や一ヶ月間の日數を要するから調印は一月末か二月初旬となると信ずる、調印の場所は東京になるがソ聯側は代表カズロフスキー氏が上京中なので調印はユレネフ大使とカズロフスキー氏及び北鐵副理事長が列席し滿洲國側は大橋代表が參列することは確かだが、外交部大臣の列席するか否かは未だ不明である

臺北消防の勇壯な出初式
石垣警務局長 野口知事等臨席

臺北消防組出初式は四日午前七時から曇天の新公園廣場で催された、野口臺北州知事、石垣警務局長、松岡臺北市尹、石川臺北州警務部長、南北兩署長以下官民多數參列裡に開會の辭、國旗掲揚、宮城遙拜に次ぎ組長の令旨奉讀、組長の人員報告、警務部長服裝及び器具點檢あり、同時擬法の後巧妙なる梯子乘は出初式場の周圍に堵集した觀衆に固唾を呑ませ、續いて式場の一隅に設けられた塔に點火勇壯なる消防演習を行ひ以下型の如く警務部長講評及び報告、消防組長答辭、知事訓示、來賓祝辭、組員動員表彰、褒賞授與交付、組長の大日本消防歌合唱、國旗降納、閉會の辭等あり、同午前九時過ぎ解散した後消防自動車は列を爲して市内を巡回して火の用心の宣傳を行つた

花岡山で擧行
花蓮港消防出初式

【花蓮港電話】花蓮港消防組新年出初式は四日午前十時から花岡山に擧行　山中文應長一場の祝辭を述べ山田組長以下組員に對し賞狀を授與し政所廳長の祝辭あり終つて大阪長官兩街長の祝辭あり終つて撮影等を行ひ九時閉會した、尚午後六時からは公會堂に於て官民有志を招待して新年宴會を開いた

羅東の出初式

【羅東電話】羅東消防組出初式は四日午前七時から羅東街公設運動場で擧行、小野田郡守以下街内官民多數の列席あり非常な盛儀であつた

梯子乘りを市民が喝采
高雄消防出初式

【高雄電話】高雄消防組の恒例による出初式は四日午前五時警鐘亂打を合圖に全組員を召集し同七時半東本組長以下全員隊伍を整へて第二小學校正門前廣場の式場に集合、西澤知事、廣谷内務、宮尾警務部長、松尾市尹、小野助役、工藤署長、中村一郎、高橋傳吉氏等主なる官民多數臨場の下に擧式したが君ヶ代のラッパ吹奏裡に國旗を掲揚し組員の纏ひ振り宮尾警務部長の服裝點檢及び器具の點檢工藤署長の檢閲報告西澤知事より東本組長以下六名の十年以上勤續者に對する表彰狀授與あり西澤知事、宮尾警務部長、松尾市尹より各酒肴料を授與し同警務部長の訓示、松尾市尹の祝辭を經て東本組長の答辭あり、それよりポンプ操法梯子登り放水競技救援及び消火作業の演習を爲し同九時盛況裡に閉式散會したが式後組員等は市内要所に於て梯子乘りを演じ市民の喝采を博した

本年は重大な年
總督訓示

(前略)我が國民一般が夢寐の間にも忘るる能はざる所の所謂三十五六年の危局は愈々其の門に入つたのであります。而して我が臺灣は帝國南門の鎖鑰であると云ふ其の使命上之と最も重大なる關係を有つて居るのでありますから吾々は平素に於て注意の十全を期し一朝事あるに際しては動ぜざること泰山の如しと云ふ覺悟がなくてはならぬと思ふのであります又之を國内的に顧みますれば近々李王殿下の本島御成りを仰ぎ引續きまして御召艦隊の寄航の序を以ちまして久邇宮殿下始め三宮殿下の御上陸を示すものであります。吾々は其の本島民に及ぼす德化の偉大なることに鑑み之を御迎へするに付きまして萬遺算なからんことを期せねばならぬと思ふのであります。又本年は本島始政以來第四十年に相當するので、此の計畫をして有意義に終らせしめることも亦吾々の大に努力せねばならぬ所であります、更に一段注意すべきことは此の第四十年と云ふ記念すべき好機會を捉へて、我々は過去四十年の事績を振返つて檢討致し將來四十年の進步發達に資すべく工夫すべきであると斯う思ふのであります。地方制度の改正も亦多分本年中には其の實現を見ることであります。改正の趣旨とする所は帝國の與論有の恒久性に培ひ本島民の日本化に貢獻せんとするに存するのでありますから官民共に協力一致して其の效果の十全を期せねばならぬと思ふのであります。更に又南支の政情が漸次常道に復せんとするの機會を捉へまして本島の使命たる南方への經濟發展に貢獻するが爲に當局者會も開設せられんとするのであります。如斯算へ來りますれば重大事項のみを以てしても十指に餘るものがあらんとするのでありますから是非をして各各其の宜しきを得せしむるが爲には各位の奮勵努力致して尋常一樣のものを以て足れりとする譯には參らないと存するのであります。更に況んや吾々の將に目標とすべきものは此の記念すべき改隸第四十年に相當する昭和十年を一劃期として文教、財政、產業、經濟各方面に亙つて一新紀元を劃するの覺悟を以て之を遂行すべき事に存するに於てをやと斯う思ふのであります(下略)

模擬火災の消火演習
臺中消防出初式

【臺中電話】恒例の臺中消防組出初式は四日午前七時より臺中公園廣場に於て擧行された、この日五十の組員は江頭組長の指揮の下に整備された器具機械を後に北面して整列開會を待つた、來賓としては竹下知事、廣谷警務部長以下各警務部課長、竹根原市尹外各官衙代表者員林、田中、彰化の各消防組代表者參列、定刻羽鳥臺中市尹の開會の辭、山本署長の令旨奉讀あつて服裝及び器具點檢、警務部長講評及び事務報告、竹下知事の訓示、江頭組長の答辭、酒肴料授與に次いで梯子乘りの妙技、放水競技、假想家屋に對する消火及び救助演習あつて午前九時盛況裡に閉式した

新竹消防の出初式

【新竹電話】新竹消防組出初式は四日午前八時州廳前廣場に於て擧行された、内海知事、藤村内務部長始め官民五十餘名臨席周圍には見物の市民堵を爲し君が代合唱裡に國旗掲揚を行ひ全員宮城を遙拜、田中組長令旨を奉讀、吉田署長、高原警務部長に對し新竹消防組の狀況報告をなし型の如く人員、服裝、器具の點檢あり、警務部長の訓辭、南木市尹、桑原佐一郎氏の來賓祝辭、知事、警務部長、市尹より夫々酒肴料授與あつて田中組長の答辭分列式ポンプ操法梯子乘り大日本消防歌合唱あつて國旗を降下、續いて州廳横の櫓下に於て消火演習を行ひ午前十時半目出度く終了全組員は打揃つて市内主なる所で梯子登りの妙技を振つた

壯烈な消火演習
臺南の消防出初式
十年勤續者を表彰

【臺南電話】臺南消防組の出初式は四日第一、第二部を合せて村上組長以下組員七十七名臺南公園廣場に集合今川知事林田佐々木兩部長古澤市尹古賀木村兩署長兵分隊長其の他官民有志多數列席の下に先づ國旗を掲揚して國旗掲揚警務部長は組長の服裝器具等嚴重な點檢を爲し終つて村上組長の經過報告、署長の點檢成績報告に次いで十年勤續者として宮川一郎桑木一等兩氏に對する表彰今川知事訓示並に酒肴料授與古澤市尹祝辭並に酒肴料授與村上組長の答辭ありそれより分列式及び各種ポンプの操法は規律整然として行はれ次いで梯子登技は鮮かな妙技に多數來賓や人垣を造つた見物人を喜ばせた後設けの櫓に火を點ぜられるや三つの放水口より一齊に水蛇飛んで時ならぬ火事場を展開して壯烈な消火演習行はれ斯て同十時終了後梯子登技は更に市内各所で演ぜられて大喝采を博した

基隆消防けふ出初式

【基隆電話】基隆消防組では五日午前八時半より公會堂下に於て出初式を擧行六日午後六時半からは料亭高砂にて新年宴會を開催するが五日出初式當日は午前五時半半鐘を亂打する事になつてゐると

總督府の政治始式

昭和十年の總督府政始式は四日午前十時より新裝成れる第一會議室に於いて中川總督、平塚總務長官各局長以下府内高等官列席の下に中川總督から御用始めに關して一場の訓示あり、これに對し平塚長官の答辭ありて式を終つたが臺北州市その他市内各官衙は何れも御用始式を擧行した

會議室に全職員集る
高雄州政治始式

【高雄電話】高雄州では四日午前九時半會議室に全職員を集めて御用始め式を擧行し西澤知事の訓示ありて廣谷内務部長職員代表として答辭を述べ閉式したが市役所其他官衙出張所其の他官衙學校に於ても同樣御用始め式を擧行した

内海知事から初訓示

【新竹電話】新竹州では四日午前九時州會議室に於て政始の式を擧行内海知事は各々事務に精勵せよと訓辭し藤村内務部長答辭を述べて九時半閉式した因みに市役所其の他の官公衙に於ても午前十時より夫々政始の式を擧行した

勅諭奉讀式

【新竹電話】新竹分會では四日午前十一時より公會堂に於て軍人に賜はりたる勅諭奉讀式を擧行した

觀兵式取止め

【東京四日發】天皇陛下には御風氣後の御靜養中のため來る八日の陸軍始め觀兵式行幸御取止仰出されたが當日の觀兵式も取止めに決定せる旨四日陸軍省より發表された

彰化の消防出初式

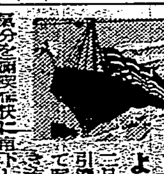
彰化市消防組昭和十年の消防出初式は來る六日午前十時より彰化公園廣場にて擧行される筈

臺灣正米の初立會

臺灣正米市場では四日午前十時四十分から同市場立會場に於て初立會の式を開催した、臺北州勸業課長、宇田臺灣米穀移出商同業組合長その他官民多數臨席、組合側は堀副理事長以下組合員出席した貝山副理事長開式を宣し吳理事長より年頭の米界所感を述べて式を閉ぢ場立係員の呼聲高く初立會をなし、別項の如く取組んで十一時半終了したが立會前大阪の期米新甫ポンヤリを入れ株式の初相場また軟弱を眺めて存高人氣失して主地筋も組合も前年初立會に見た元氣なく、恒例による攝行の聲もなんとなく音色が惡かつた、引續き立會後新年宴會を開催した

高千穗丸より(來航)

【一月四日發】引揚げ海上に平浪なく暖かく浪なき海上に至り五日午後一時基隆着豫定、荒川、沼田兩博士、橋本、吉川兩海軍中佐、植村商工省技師、池田陸軍運輸部出張所長、南田高雄青果副組長らの諸氏(四日夜無電)



政所廳長の訓示

【花蓮港電話】花蓮港廳の御用始式は四日午前九時廳會議室に擧行政所廳長は廳員一同に對し新年の時頭に當り各員事務に努力勉勵するやう訓示をなし、阿部庶務課長これに對して答辭を述べ九時半式を終つた

新年宴會
總督官邸で

中川總督は五日午後六時より官邸に臺北初め全島主なる官民を招待新年宴會を催す筈である

軍司令官の招宴

寺内軍司令官は四日夜官邸に來臺中の三貴族院議員及有吉實氏を招待晩餐會を催し交驩するところあつた

學者に聽く臺灣製糖

學術大會以來屏東を訪問せる學者連頗る多く臺灣製糖では又となき機會であるとしこれら學者連を歡迎してその所見を聽き社業經營上の參考に資するところあり一樣樣であるが、新年に入りては特に西ヶ原農事試驗場技師にして土性學の權威者たる關入松三郎博士の來社を請ひ三月は後壁林製糖所、四五兩月は屏東の阿緱工場と崇蘭農場を視てもらふことになつた、尚三月は北海道帝大の名譽教授宮部博士と同大學の教授半澤博士が三宅總督府技師の案内にて屏東の臺糖本社を訪問四月高雄に引返した

シナチク

年賀狀の多い少いが好不景氣に關係し其の土地の生活程度や文化のバロメーターにもなるものだが、さて年末から年始へかけての年賀狀の實況はどうかといふに、全臺灣の各局における引受數と配達數とは、ざつと次の通りで何れも大增加を見てゐるさうだ▲大晦日迄の全島各局の年賀狀の引受總數は、九百七十萬二千七百六十三通、これを一年前の昭和八年末に比較すると百四萬八千通から增加してゐる▲また配達の方は、元日の第一便で全臺灣に配つた賀狀の數が六百六十一萬八千九百六通となつて居り、前年と較べるとこれも九十萬通からの大增加だ、以上の數字だけで見ても、臺灣の好景氣振りは相當のものらしい。

人事

▲竹下豐次氏(臺中州知事)掛員文書課長隨行一月四日午後四時出府(日之丸館)

▲大津山國造氏(臺灣製鹽會社支配人)一月四日來北(日之丸館)

▲町田正平氏(阿部幸高雄支店長)四日來北(日之丸館)

▲佐々保雄氏(北大教授)大霸尖山、南湖大山ノ氷蝕地形研究を了へ一月二日歸北(日之丸館)

▲大内恒博士(シンガポール駐在)

▲臺灣教育視察團(?)[illegible]一行は八日臺東より來花經由中壢里東林田を經て九日タロコに入り十日[illegible]

▲[illegible]六十一名は二日來臺各方面視察の上三日夜高雄に向け出發 馬公(四日發電)

▲軍令部參謀戶塚大佐は三日夜視察の爲來澎(馬公四日發電)

▲園谷文學博士 二日午後四時十八分着列車にて來高市役所員の案内にて壽山西子灣其の他市内各所を視察し一泊の上四日午前八時廿八分發列車にて屏東に向ひサンテモン寺社、製糖工場、公園等を視察の上午後九時四十分着列車で高雄に引返し同八時發列車にて臺南に向つた

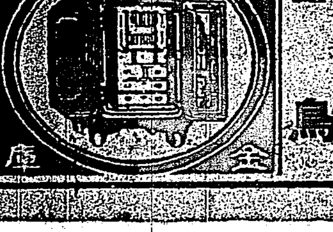
本日府報不發行

●本日肉食デー
毎日の奉仕品 内地肉百匁卅五錢
臺北市京町 電話六四九番
鳥伊

本年も不相變御引立を願ひます
メトロホール
末廣町二丁目 電話

都鳥自慢のてんぷらと宴會
明けましてお目出度う
非常時の今日新年宴會は最も經濟で最も安く如何程でも御相談に應じます
臺北市京町一丁目
京町食堂跡 都鳥 電話

廣島銘酒 不二壽 フジコトブキ



北投温泉 割烹旅館 新松島 電話五五番

食道樂 北投 新高 ●室内は最新式で大衆向 電話四八番

眺望第一 北投温泉 御料理旅館 花月 電話

北投温泉 御料理旅館 竹葉 一年の御愛顧を何卒竹葉で 電話四〇番

北投唯一の大宴會場 ◎旅館 ◎料理 松濤園 北投温泉 電話二〇番 ◎新浴場と洋室完成 最新式のセリ揚げ舞臺裝置

御旅館 御料理 八勝園 北投温泉 電話一六番

謹賀新年

株式會社
日本勸業銀行臺北支店

臺中市大正町
株式會社 彰化銀行

支店
彰化、南投、臺北、桃園
豐原、基隆、鹿港、員林
埔里、高雄、東勢、清水
臺南、板橋

株式會社
臺灣銀行
(臺北)

支店所在地
臺灣
基隆　新竹　臺中　彰化　嘉義
臺南　高雄　宜蘭　淡水　桃園
南投　屏東　臺東　花蓮港　澎湖島

支店所在地
支那
上海　福州　廈門　汕頭
香港　廣東　新嘉坡　スラバヤ
其他
スマラン　バタビヤ　孟買　倫敦
紐育
內地
東京　神戶　大阪　橫濱

資本金五百萬圓
臺北市大和町四丁目一番地
株式會社 臺灣商工銀行
大稻埕、基隆、宜蘭、羅東、桃園、中壢、新竹
竹東、竹南、苗栗、臺中、斗六、西螺、嘉義、朴子
北港、鹽水、麻豆、臺南、高雄、鳳山、旗山、屏東
東港、花蓮港、南門、萬華、草店尾、岡山

資本金　壹億七百貳拾萬圓
積立金　貳千參百壹萬圓
株式會社 三和銀行
大阪市東區今橋
臺北支店(本町二丁目)
臺南支店(本町四丁目)
高雄支店(新濱町一丁目)

株式會社
華南銀行

農産業に躍進の臺南
今年は精神啓蒙に邁進
今川知事亥歳の抱負を語る

危機第二年と囁かれる一九三六年の新春を迎へても吾等が良二千石今川知事は例によつて矢張り朗かである。朗かなのが嶮綴で大つ腹な經綸なのか今川さんの持前だ、偽でやんやと騒いでも泣いても動かぬ地藏かと見れば叩けばゴーンと響く大鐘の經綸また遠く渡つて人の心の奥をつくし…凡そ其の邊が今川さんがいふ「人間今川」の姿らしい

で、そのスマし込んでゐるところが憎らしくて記者が不意打にと飛出で不用意なところを訪ねて「年頭の所感如何に」と突拍子にもつき込んで即答を促せば

「よーやるもんだね！」とは最初の御挨拶、そして

「今年は猪の年だね」と轡いたらしい

「猪の様に猪突するんだな」即答第一聲だ

「で僕は我が日本の運勢も今恰度猪突時代だと敢て確信する」と仲々へこたれるところか……と、大局を喝破する

「此の機に際して諸君とともに大にやらう—實に愉快ぢやないか」

と闊笑する明るさ、かくて最早我が意を得たりとばかり勝々として即心即答

州下産業道路も七、八、九年に亘つて完成し、今や既に利用時代に入り多年の懸案だつた、安平築港問題も今は明かに、決して、州下百二十萬民衆も漸く愁眉を開き、米代作の亞麻産業は本年には一萬甲以上を作付しよう程の勢ひで先づ確立の狀態とともに臺南製糖會社は愈々本年から儼として煙を吐くこととなり一方轉じて野球に於ては久しい間の沈衛を破つて漸く全島制霸に成功する、阿里山、新高山は既に府天下に認められつつ國立公園實現、正に近き將來に曙光を見るといふ工合だ、こんな情勢の裡に昭和九年を過し、ここに十年の新春を迎へて、無論これ等のことどもを益々大成せしめるため大に努力しよう、が茲に「衣食足つて禮節を知る」とか富ますばかりが能ではない、總て何事も最終の到達點はここに在る、で我輩これからは及ばずながら眼心一番第一歩を踏み出してよく教育勅語の御聖旨を體し、國民精神を涵養して州民の精神教化運動に一路邁進するつもりである、同新聞の報ずるところによれば愈々臺南自治制問題も第一歩を踏み出さうとしてゐる折柄、これについても官府の意のあるところを體して民意の暢達に奉仕したいと思ふといと朗かに語る

旭村の恩人
田村氏の人となり
此の人あつて旭村は今日の繁榮を築き擧げた

本島に於る內地人移民村經營の試験を見事突破し今や移民政策の對照となり劃き存在とさへなつてゐるのに臺東郡下の旭村を擧げたい勝因は一朝にしてならずといふ古き言葉を引き出すまでもなく旭村も今日ある其の陰には長き二十年の歷史が輝いてゐる。大正五年臺東開拓會社の招致により遼大の希望に胸を躍らして新潟縣より渡來せし二十二戸の村人は拮据苦闘十歳餘、飢えの辛酸は酬いられて今日その始めて移民村の新春も旭村音頭に明かに明け行く迄になつた此の多幸の運命を作り出す迄には長き年月に亘る村人の協力自彊の力もありてとは云へ、其陰には偉大なる人柱の存在を忘れてはならない。旭村を訪れる外來者は誰も村を代表して東道の役を務める作業服に地下足袋の偉丈夫を發見するであらう、至誠其のものの人格—郷を物語る其の面貌、村人ながら二十年の經驗より迸る眞摯の熱言、語り聞く中に「此の人あつてこそ」と感謝の念を禁じ得ず一村繁榮の動力を親ひ知らしむる此の田園の巨人こそ旭村の人柱、植民の礎石を爲す、田村孝一郎氏である

氏が二十二戸百五十人の死命を雙肩に荷つて過去二十年間旭村更生の爲に盡せし努力と實績の數々は今改めて枚擧せずとも後記する村の現勢がよくそれを物語つてゐる然るに築き上げたる悦びでホットする間もなく今又同氏には第二、第三の難關が引きも切らず課せられてゐる即ち其の中の最大なるものは第二世達の育成指導である。新春に富む男女が都を憧れて村を捨てる！之は農村にとつて大痛撃で何處の移民村でも頭痛の種となつてゐる如く田村氏も同様此の難關の解決には數年來惱み拔いて來た されぱこそ、村興亡の因となり根幹となるものは青年男女の指導にかかるものとの哲理より現在全心魂を打ち込んで此の解決に努力してゐる、其のよき實例として同氏の長女の昨年の結婚は村人に導き教示となつてゐるではないか田村氏は息女の結婚に當り諸方からの求婚を一切謝絶して息女の婿に選ばれたるものは何ぞ図らん村で一番經濟的に惠まれざる一家の青年であつたそして現在若夫婦をして先づ一家更生の第一線に奮闘さしてゐる、此の一事が同氏の言行をよく盡してゐる。旭村の人柱

植民の礎石なる言葉を敢て同氏に呈する、決して故なきに非ずと首肯されるであらう。居稣の彼醉に洒容をくずし田村氏はポツリ〳〵と左の如く語る

「旭村も、今年で二十の歳を取りました、過ぎにし方を顧みれば感無量です、人間も二十歳を以て適齢とし、一本立ちと看做さるが此の村も二十歳となつて始めて立派に一人歩きが出來るやうになりました。旭村が他の移民村に比較して割合に早く更生の實を收め得たといふ原因は頗る簡單です。それは村人の自覺依頼心の放棄、即ちお上や會社へのみ頼ることを止めて村の更生は村人の力でといふ事を早く氣付いて小さい力ながら擧村協力して之に精進したお蔭でありませう、要は郷土愛に燃ゆる熱意こそ望ましいのです、私の今後の希望、それは來年度卑南圳が完成した曉に於て其の恩惠を蒙ることが出來ればせめて此の村も五十戸位には増加さしたいと希望してゐます、今私の頭を惱してゐるものは第二世達の分家問題です、之は私の終生の仕事として村の爲に奉仕したいと念願してゐます」

田村氏は本年四十七歳にして十人の子福者であつて一家從任、同氏の人格は家庭にも反映して長男の孝藏君は青訓生で村の模範青年である。今や田村氏は旭村の一切の動向の羅針盤であり其の巨大なる存在は旭村の繁榮と共に輝いてゐる同旭村の現勢を附記せんに戸數二十三戸、人口百五十名、經濟狀態は四甲五分此の年收千五百圓見當の耕餘を示し一戸平均の耕作面積は資源を差引して一萬數千圓の卜作物は甘蔗で畑作の野菜は每朝臺東街の市場を賑はし昨年の如き一戸平均二百圓の貯金をさへ出來て成績を擧げた、而して村の中には萬の資産を爲してゐる家もある更に本年度卑南圳完成後は村有地三十甲歩水田可耕地を豫約されてゐるので村の前途は益々洋々たるものあり村人は新しき希望にホホ笑んでゐる（寫眞旭村繁榮の恩人田村氏）

果實界の王
珍果ペーユウ
その美味に人驚く

嘗て內地の東西に於て聞く柑橘を賞翫する者、臺灣の名珍果ペーユウを食せずしてどうして柑橘をとやかく賞翫する資格は更に無いと喝叫して居る。二三の店頭に堆々と賣舞は麻豆の特産たるこれぞ日本一の珍果ペーユウで御座い、即ち柑橘の大王なりと、しかも京都で日本一の柑橘王であると折紙を付けられた譯である、此のペーユウを一度口中に運ぶ時は其味はひたるや生理的な酸味と適當な甘味と溢々たる水分とは口中でとろける様な、何とも彼とも謂れざる醍醐味ともいはうか、その絶妙な味なのに人は驚き飛び上がつて喜ぶことであらう、そして後ち其の味覺を思ひ出してペーユウは實に美味と絶讚の聲をあびせかける、そこで曾文郡當局では一昨年來柑橘組合を組織して文旦の栽培と共に奬勵したが、更に接木苗を養成して配布する外病害蟲を指導して増殖改善を圖り文旦病蟲害驅除豫防に努力し麻豆から販賣の販路まで行つてゐるが白柚の眞價が一般に知れ渡り九年中の總生産高七千顆に達したが內地と島內の註文に應じ切れない盛況を呈したのである。この白柚も昨今の所では一顆五十錢から七八十錢の相場では大衆的でない、或る組合の指導奬勵により一顆三十錢內外で一般に供給する様に期待されてゐる

新春を迎へて！
新興南都の雜感
//……S記者

悠々南都に橫たふ運河のうねり、春陽を浴びて帆任せに往きかふ船頭が言ふことにヤーゼーランチャは變らねど、何時の間にやら都と化けた臺南銀座のネオンの華は遠い昔を偲ばせる—

× × ×

昔懷しい銀座の柳とか、そんな粹な音ではなかつた臺南銀座が今おや誰が何と言つても、あの軒並ぶ建築の威容、銀ブラーピチューマルスの舖道、瞬ふネオンとショウウインドウの華やかさ、一躍第一の華の街をデビウして歐然南部臺灣に頭角を現はし他の追從を許さない

× × ×

鮮麗だつた西市場構内の淺草マーケットも漸く明るく朗かにも大衆に呼びかけて延びて行く、そして商況をあげた小商人達も新春とともに他力本願の殼から飛び出して奮起一番自力更生への新道へ

× × ×

明朗はスポーツから—今川知事の古臭い「蓄都臺南」の名を一擲「都臺南」への理想も益々實現して臺南州體協の全島制霸成り、次に來るべき都市對抗を目指して一路猛進の途上新春早大チームを迎へて兒玉、杉原のバッテリー健闘あれ臺南市が誇る球場は吾等の天地

× × ×

時の流れ、衛装を脱して新生面に第一歩を踏み出した臺南實業會よ名もあれ、ともに春の實を結べかし

× × ×

我國南方生命線上に毅然として存在する我が糖業試驗所と臺南高等工業學校とは南方に進出せんとする企業者の前に、常に門を開いて研究指導は大歡迎だと、古老高島鈴三郎氏の言を借りて言へば「臺土の人曰く『江南の橘を江北に移せば枳となる』とか、天聖臺かな我が南臺の地が發展成らずんばそは人爲策の至らざるに因る

× × ×

かくて南都は一歩々々歩み歩みつつ更に今日の新春を迎へて而安平築港、臺南驛の新築、臺南驛の改築、臺南神社外苑競技場等々一九三五年の途上に塗された數々の大業を擔ひつつ強く強く歩み續ける

わたしの元旦
荻原井泉水

氷りつめし初空に明りさしたるなり
元日の子供が池の氷とささなみ
とかくして元日の日が一ぱいな池の面
群に元日のカアテンをひくとわたしの灯
銀杏の高木の明星のそれも元日

S

大日本製糖株式會社

資本金 五千百四十一萬六千六百圓

本店 東京府南葛飾郡砂町
東京出張所 東京市丸ノ內二丁目昭和ビルディング六階
臺灣支社 臺南州虎尾郡虎尾街
朝鮮支店 平壤府船橋里
名古屋出張所 名古屋市西區下園町四丁目
大阪出張所 大阪市北區若松町
朝鮮支店京城出張所 京城府堅志洞
上海出張所 上海廣東路九號
爪哇派出員事務所 Gadi g Straat No. 16 Ketanlan, Soer. aj Java

社長 藤山愛一郎
臺灣支社理事 取締役 永井清次

臺灣支社
虎尾製糖所 臺南州虎尾郡虎尾街
斗六製糖所 臺南州斗六郡斗六街
北港製糖所 臺南州北港郡北港街
月眉製糖所 臺中州豐原郡內埔庄
烏日製糖所 臺中州大屯郡烏日庄

東京工場 東京府南葛飾郡砂町
大阪工場 大阪市東成區友淵町
大里工場 門司市大里
朝鮮工場 平壤府船橋里
爪哇工場 Gol ren Afd Kl toa Solo Java
大東島製糖所 沖繩縣島尻郡南大東

謹賀新年

謹賀新年
本年も相變らず御愛顧の程願上候
昭和十年一月一日
臺北市榮町二丁目二十番地
新高堂書店
村崎長昶

賀正

商標 菊 純粹
椿香油
椿油（ツバキアブラ）
各地著名なる大藥店化粧品店にあります
◇純粹菊椿油使用の御方
ナニシロ髪は面かたち品格を支配するものなれば是非共㊍印純粹椿油を御利用下さい髪を御洗ひになる時は弊店製造の純粹椿油洗粉を御使用願ひます上記の様な髪になる事請合です
◇ニセモノに御注意
ドンナ上等の髪でもニセモノ不良品御使用になればフケ、カユミ、ヌケ毛、クシ切、鼠白毛等の原因となり毛の質を損めツヤを失ひ上記の様な髪になります
椿油香油本舗
臺北市表町一丁目（電話二一〇二番）
菊池銃砲店

藥
藥品一般　新藥一般　著名賣藥　度量衡器　化粧品類　勉强と親切
廣生堂藥舖
臺北市　電話九一一番
榮町四丁目　電話一九八九番

在園測量請負業
園田充直
第一農園　臺北市水道町六五番地
第二農園　臺北市古亭町一九二番地
第三農園　臺北市馬場町七七番地

覇王純良飼料臺灣全島特約販賣元
貿易商 合資會社 東合勝洋行
臺北市南門町三丁目九番地　電話五九六番

吉村洋服店
臺北市榮町三丁目

和洋紙文房具卸商
今小川紙商店
臺北市本町三丁目　電話二八七番

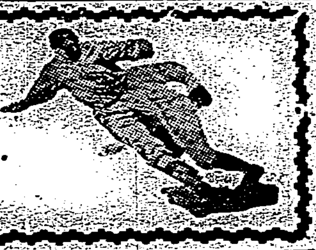
北投庄
平山元助
陳清地
洪金火

臺北名物湯
天德礦泉は胃腸病の妙藥
天德礦泉代理店
鐵之湯溫泉
大和町二ノ五

銘酒
楓白鹿
賣入元 株式會社 辰馬商會

高雄
稲福

北投信用購買組合

各種運動具運動器具スポーツ服裝

松葉屋運動具店
臺北市京町參ノ壹　電話四六七番
前田吉時

靴と鞄
各學校指定靴調製
學校靴發賣元
各種運動靴卸商
合資會社 新 日新堂
基隆市義重町三丁目
電話三八四番
振替台灣三二九五番

小兒科專門
岩下醫院
基隆市日新町參ノ六
電話四八六番

りん病・コンケ・責任藥
無效返金
板野淋藥
基隆病院前
板野製劑所
電話壹〇壹四番

臺灣特產品 珊瑚加工品商
南豐吉
各種寫眞ニ取扱出來マシタ是非御用命ヲ願マス
基隆市義重町壹ノ八
工場　電話四九參番
電話壹五四番

豊かな食卓のお伴に逸品
松元のかまぼこ
基隆　電四一四番

內地みやげ 珍品荷揃
基隆驛前
東陽物產商會
電話三六〇番

內臺航路發著待合所・基隆海水浴場
潮湯 港湯
すき燒、ちり鍋 よせ鍋 其他色々
電話五六四番

一九三五式新型流行
迅速 安價 RB
聯美洋服店
羅紗綿布並ニ婦人服裝部
基隆元町二丁目
電話壹參四番

基隆 各產
基隆市義重町三ノ三
植田サンゴ店
電話三〇五番

基隆海水浴場
潮湯 平和湯
すき燒、ちり、寄鍋、料理初めました
電話四八九番

各種（蚕豚家禽）飼料
海南製粉
基隆工場

基隆名物
ひらどかまぼこ
平戶の蒲鉾
平戶蒲鉾部　電三〇九番

基隆市
中央ノ住宅地
イ及ビ望眺
空気ノ清ラカナ
燃煙ノ絶對ニナイ
自動車道完備
高地水道ノ設備アル
最高坪 ¥5.500
最低坪 ¥1.250
基隆市双葉町
日乃出土地商會
電話1142番

恭賀新年

商標 登錄

羽獅子印・各種印刷用インキ・印刷材料・印刷機械
東洋インキ製造株式會社
顏料染料藥品類
東洋化學工業株式會社
東京市京橋區二丁目六番地
出張所 大阪・上海
臺灣代理店　臺灣日日新報社販賣課

好きな小唄は　わたしの生命
藝道修業もまたつらい
勝太郎

新年御目出度うございます。今年も相變らず小唄をうたひますから何とぞよろしく御贔屓ひいたします

○

小唄は私の生命でございます。私は小さい時からうたを歌ふ事が三度の御飯より好きで、悲しいにつけ嬉しいにつけ何かうたつて居りました。お客樣に歌へて頂いたものも隨分ありました

しかし小さい時は小唄が今日の樣に流行にならう事と考へた事もなく、まして、自分がレコードに吹き込んだり、ラヂオで放送する樣な者にまでならうと夢にも考へませんでした。ただ單に好きであつたばかりです。もとより何の素養もない私ですから小唄の研究や苦心は大したものでございませんがどうしたら大衆的に歡迎される唄がうたへるかといふには始終惱みつづけてゐるのですがなかなかよいものが出來なくて困ります。作曲の先生も色々苦心して私にあふ樣なものをと思はれて作曲してみて下さるのですがなかなかよいものが出來ません

例の島の娘ですが、あれは初めから私が好きだつたのです。好きで好きで唄つた折りですが、お蔭樣であれは皆樣に隨分歡迎されて「島の娘か勝太郎か」といふ樣になりました

一體小唄といふものは情緒的のものでございますが私は悲しい唄の方が好きです。泣いてもく泣ききれない悲しい人生の宿命を一曲の小唄に表現する時私の心はただその事で一杯になるので何も考へる餘裕はございません

ですから唄つてゐる時の私の心境は唄そのものに全心全靈が打ちこまれてゐるのでございます。ですから私は小唄によつてのみ自分の生命があるので外に何の希望も慾望もないと申上げても過言ではありません。恐らく私の生命の斷たれる迄唄ひ續ける事でありませう

○

只今は所謂小唄全盛時代とでも云ひませうか、とにかく小唄といふものがあらゆる階級に愛好されてゐるのでございますが、この傾向が果して何時迄續くか、また小唄が藝術的の價値云々といふにはもとより私如きものには一向にわかりませんが、小唄に對する私の信念は、よしんば小唄が流行しなくなつて世人に一顧も與へられない樣な時代が來るとしても、私は小唄を離れやうとは思ひません。小唄を一生唄ひつづける積もりで居ります

ですから小唄の大衆化、小唄に永遠への生命を持たせる爲には隨分苦心して居ります。皆樣も御承知の通り小唄のよさはあの味にあるので小唄の味を出す爲に日に夜をついで苦心してゐます。例へば「島の娘」の「アー……」といふ言葉でも、どうしたらあの島の娘の氣分が出せるかといろく聲に抑揚をつけるのです。私の苦心はこの聲の抑揚が一番肝腎に思つてゐるのですが、なかなか思ふ樣に出來ないのを何時も殘念しんで一生懸命勉强しなければならないと思つて居ります

○

それに聲を出す苦心と一緒に私は非常に咽喉を大切にいたします。それで每朝吸入をかける事を忘れませんし、酒、煙草その他刺戟性の食物は一切避けて居ります

それに睡眠不足は大の禁物ですから夜更かしもなるべくしない樣にしてゐます。しかしこんな稼業をいたして居りますからどうしても夜更けになり勝ちなのでそんな時は、翌朝は朝寢をする事にしてねむい目をこすつて起る樣な事は致しません

それにもう一つ、聲をよくする食べ物として私は黑豆の煎じたのをお茶がはりにいただいてゐますが、これは本當に効果がある樣ですからもし聲をよくしたい方がございましたらこれを召上る樣におすゝめ致します

○

御最後に私はもうお座敷には出ないと云はれてゐる樣であるが、お呼び下さればどんな所にでも出ます。ただし此頃はお呼びになるお客は皆唄はせる爲のお客許りで、御所望のうたをうたつて一寸お酌をして廻つて引揚げるだけでございます。此頃は大きなお座敷でも隨分お呼び下さいます。こんなのは大抵話に私の唄をきくといふので、それがすめばズン〱歸らせて頂いてゐますが、お蔭樣で大變忙しく、毎日レコード會社に行つたあとはすぐお座敷がいくつもいくつもあつて眠つてゐる時の外は體にあきがございませんで日曜だけはせめてゆつくりしたいと思つてゐますが、それもなかく思ふ樣には參りません

猪の末裔なる　豚＝の＝話
臺灣の養豚事業は　眞に東洋一である

◇…（府技師高澤壽氏談）亥年の年頭に因り猪を祖先とする豚の話をすることは極めて意義深いことと思ふ。吾々人類が猪を家畜化して豚となしたことは極めて古代に屬し、周禮にも既に豚の記錄があるところを見れば、支那では四五千年の昔から豚を飼つてゐたことを知る。ネ、ウシ、トラの十二支には都合のよいことに牛、馬、羊、豚、鷄、犬（支那では之を六畜と稱す）などを編み込んであつて、而も之等が夫々十二年目に周期的に廻つて來る關係から、十二年を一期として各種の家畜、家禽の情勢を探求し之によつて將來の計畫を進めて行くことは非常に好都合である

◇…いま全世界における豚の飼養頭數を見るに（一九三二年度）

歐羅巴	八〇、六六九、七三三
北米	七三、二〇四、六〇四
南米	二九、九七〇、六二二
亞細亞	一九、八二〇、六九五
阿弗利加	二、八六二、〇六七
大洋洲	一、八六八、三三六
支那	二六〇、〇〇〇、〇〇〇
合計	四七五、〇〇〇、〇〇〇

右の如く世界中には約四億七千五百萬頭の豚が飼はれてゐるものと見てよろしい。翻つて臺灣の養豚界を見るに現在飼養頭數百八十萬頭にして內地の九十四萬七千頭、朝鮮の百二十三萬頭に比較して人口、面積の割に非常に稠密に飼養されて居る、之を歐米主要豚國に比するも敢て遜色を見ない、即ち臺灣の養豚はその絕對數こそ大した數ではないが、內容實質から見て今や東洋第一の養豚地といふも過言ではあるまい

◇…併し臺灣の養豚界が內容實質に於て從來とハツキリ區別することが出來るやうになつたのは昭和元年以降であつて、總督府は同年から五ケ年計畫を以て世界的優良品種の一つたるバークシヤー種の普及獎勵を進め他方傳統的なる支那式飼養管理法の改善を勵らしめた結果、本品種は破竹の勢ひで普及し、毎年十萬頭內外の增加を見今やバークシヤー系統のものは全島の八割强に達し、飼養頭數は領臺當時の約三倍、前の亥年（大正十一年）より五十萬頭を增加した

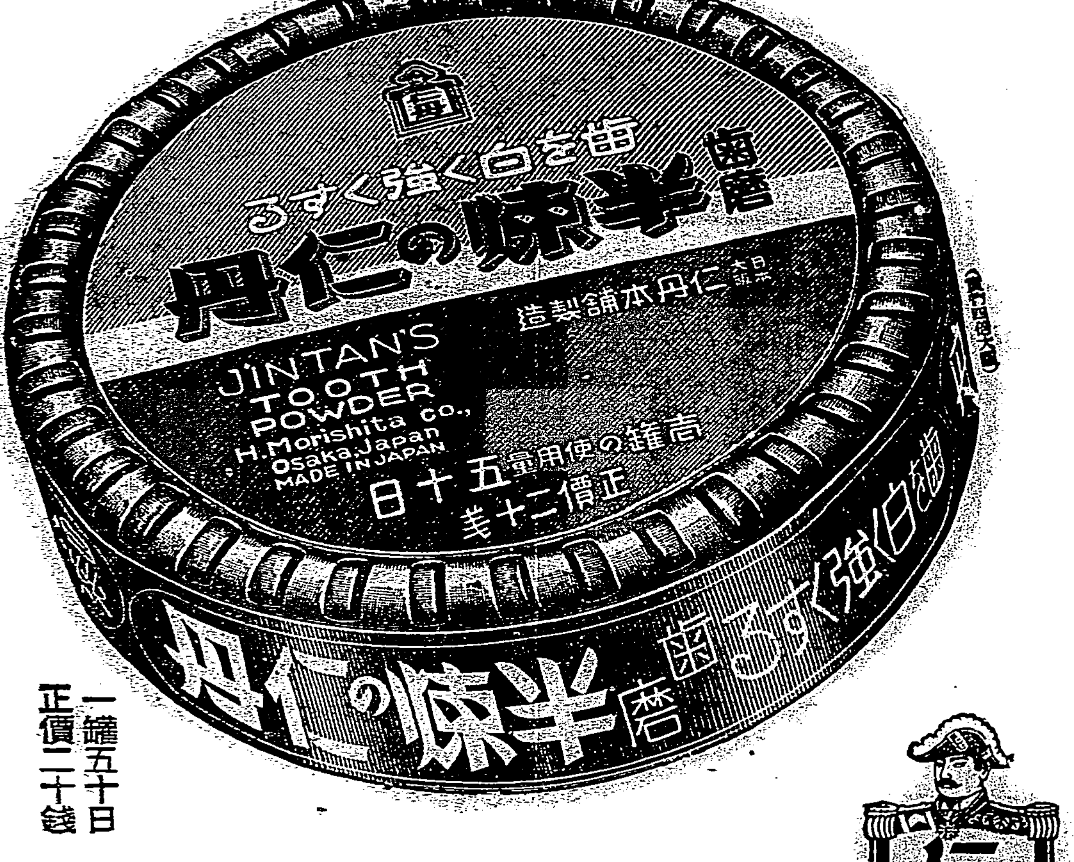
◇…吾々は過去十二ヶ年に於て臺灣の豚の品種、體形、肉質、肉味の點に於て漸く世界市場に通用する商品にまで仕上げた、之は第一段の準備工作で、次に來るべき亥年までの十二年間に臺灣の養豚界を飛躍せしめんためには、恰も日本商品が世界市場に進出してゐる如くに、臺灣の豚は品がよくて値が安いといふ法則に合致させねばならぬ、之がための各般の施設として進むべき事柄は（一）品種の改良（二）飼養管理法の合理化、（飼料の經濟的合理的な配合の研究、屠殺適期の研究、改良豚舍の普及）（三）豚コレラの徹底的豫防撲滅などの複雜な技術的行政的の指導を進めて行かねばならぬ

新春の臺南
「……一記者……」

1935年の春臨は我が臺灣の歷史の頁に南部臺灣の我に明るくも朗かに輝く「更生だ」「非常時が何だ」「不景氣が何へた」と南國の灼熱は凡ゆる生物を蘇らせる、豐かなる南國の民はまた溌剌たる力の化身だ道は一つの飛躍へ

◇見よ、嘉南の大平野には東は烏山頭の雨々たる貯水池を起點として數限りもなく朝野の夢を語る水路により悠と相和して十を化し既に分地や看天田の改良は今や進歩の一路を辿つて茲に嘉南の穀庫の完成は早々近づいてゐる傍ら甘蔗や棉花の代作は相俟つて米穀統制の國策の一環を承けて嘉南八百里の今川產業道路網は大成して州下產業の生命線と融して坦々として盡きるところを知らず、かくて我が大臺南は天與の慈と地と力の一體となり新春の光明を追うて猛と進つて進む……

專賣特許　仁丹　半煉歯磨
【第108687號】



一罐五十日
正價二十錢

他品の追蹤を許さゞる
唯一、獨特の優良齒磨

シッとりとしたブラシへの着き具合
サラサラとして氣持よき歯の感觸
溶け入るやうに爽かな香ひと味ひ
しかも、最も經濟的な高級の實用品

眞に 朝晩の齒磨として理想的！

赤の大粒仁丹と仁丹の体温計の本舗・森下博營業所

ひふ病の良藥
たむし　いんきん　しらくも　はたけ　頭部の濕　頑固ヒフ病一切
尾澤　全治水
本舗　尾澤商店

ぜんそく　病院御用　アストマン

淋　病　新　藥
陸軍藥局方收載
ツヨール
淋菌を殘殺し尿を清澄ならしむ、持續服用するも胃腸障害又は腎臟刺戟を起さず
（適應症）急性・慢性淋病・膀胱炎・尿道炎・消渇等
製造發賣元　ネオ製藥合資會社
東京市日本橋區江戶橋二丁目
電話日本橋三一七一番
（有名藥店ニアリ）

髮洗ひは花王シャンプー時代！

御進物に
滋養　强壯
ハッピー印　マスカットワイン
（純良葡萄酒）

產前產後の滋養
補血强壯　疲勞恢復
天然の味覺
絕對人工着色なし

釀造元　大阪　外山貞三郎商店

軍縮會議と財政

小川郷太郎

(一)

現在日本では、あらゆる社會がゆし不安を感じたやうになつてゐる。世間では之を社會の不安とか或は政治の動搖とか稱してゐるが之と同樣に財政もしゆかめられてゐる。一千九百三十五、六年の危機と、危局とかよく云はれてゐるが、之はその年が日本にとり非常に重大な時機と云ふ事に外ならない。而してそこには軍縮會議が横はつてゐるか、それが一つの渦の中心である

軍縮會議が何うなるかは、今日豫斷は早計である。併し我國として既に決心強く、殊に海軍は堅い決意を以て之に臨まんとしてゐるから、それが多少容れられて何とか纏まるか、それとも破裂するか判らぬが、若し纏まるとすれば今迄の條約より以上に進む事となら、此進む事は軍備平等權が或る程度に認めらるると云ふ事になる。又それが何う云ふ内容を持つて來るか判らぬが、必ずしも同じやうな軍艦の種類や軍艦の數を持つと云ふのではあるまい

若之が破裂するとすれば、無條約時代が起るものと一應見ねばならぬ。さう云ふ場合でも軍事費は必ずしも非常に膨脹して今日の狀態がすつかり違つたものとはならないと云つてゐる。從つて軍備平等權が認められても亦認められず勝手にやるにしても艦の種類、艦の噸數を同じやうに平等にすると云ふ事にはなるまいと思ふ

即ち日本の國防方針は攻むるに足らず守るに足ると云ふ軍備をしようとの建前であるから守るに要する軍艦の噸數、艦種は英國や米國と同一のものでない事は明かで、結局日本として守るに足る軍艦の種類、分量を整ふる事になるであらう

それには或は潜水艦等をもつと多くこしらへる事になるであらうが、それ丈け主力艦其外の艦種の軍艦を多少省き得る事であれば假令軍縮會議が破裂して、無條約時代になつた所でたいした軍備擴張にならずに濟み得るとも云へる

併し斯くの如く果して一番大切な種類の軍艦と云ふ事を置き得るか何うか、他の艦種を省き得るか何うか、そこに軍備の擴張が現實化して來るのではないかとの心配が起らざるを得ない。

いづれにせよ、軍縮會議は名はいかつかぬので低氣壓に襲はれ、軍縮と云ふ事實において、どうやら一轉へ轉んでも、軍縮に歸着せず、日本の國防費が殖る方向へは進まぬであらう

(二)

日本の財政は此軍事費の見透しがつかぬので、低氣壓に襲はれ、暗雲低迷し、殆ど前途光明を見ない狀態にある。昭和十年度豫算を見れば、陸海軍費が十億三千萬圓で、一般會計豫算總額二十一億八千萬圓の四割七分位になる。之を昭和九年度の豫算に見れば、二十一億四千萬圓に對する九億三千七百萬圓で、即ち四割三分弱であるから、十年度に於いて、僅四分程ずつのものが膨脹した譯である

昭和九年度豫算編成の際でも日本の財政は、軍事費に片寄つたと云はれてゐたので、十年度の豫算は更に一層片寄つて來た事となり、今後軍費を大きく行つても、赤字公債丈けは減らずに益々增加し、我國の豫算は國債の費用で大半をとつてしまふと云ふ事になるのではないかと思はるる

斯くて必然國防と財政との調和を何うするかと云ふ事が最も緊切な問題となつて來る。即ち軍縮會議が日本の運命に關するならそれと同じ意味において財政と國防との調和が日本の運命を支配するものであると思ふ

昭和十年度豫算の内容を檢討すれば、十億三千萬圓の軍事費に對し、政府の公債以外の收入、先づ租稅其他の普通歳入は十四億三千萬圓位なるに過ぎない。然るに之に對して公債の利子等所謂國債費が四億圓を突破してゐるから國防軍事費と國債費とを合すれば十四億三千萬圓となり、丁度今の租稅其他の普通收入と匹敵して、あとは何もなくなる譯で、各省の仕事に對し一つも擧ぶ餘地がなくなる。從つて之等は借金で行かねばならぬ狀態である

而も恩給や、年金等の義務費その他のきまつてゐる特殊經費が二億圓位あるが、之等は陸海軍文武官編成上きまつてゐるもの迄も借金でやらねばならぬ。もつて如何に日本の財政狀態がかけ外づれに變調子になつてゐるものであるかが判る。而も一つ國防費が嵩めば恐らく普通收入で國防費や國債費も拂ひ兼ぬるやうになつて來るかも知れぬ

尤も今日租稅收入などは相當回復して來たとは云へ、自然增收は左う無暗に期待は出來ぬ、少くとも軍事費の膨脹に伴れて自然增收を期待する事は出來ぬから若し軍事費が多く增せば、日本の財政は益々惡化し、換言すれば、赤字が大きくなり勝ちの方向へ進む外ないであらう。さうなれば我財政に對する外國の信用もなくなる事になり由々しき大事を招來する虞れがある

(三)

之を財政經濟的に見れば、公債が下る一つの原因となり、又國内的に云へば財政の信用がなくなるにつれ、一方では何でも借金でやつて行くと云ふ財政政策を取らるるであらうし、他方では公債を買つても何うなるかと云ふ事になりつて公債の消化力が乏しくなつて來る

貿易の下る事も程度もので、餘り下り過ぎると或は外國で日本の物を買はぬと云ふ事に一つの障礙が來る。現在日本が仕向けられてゐる財源をもつとけしくする事になり、日本の貿易は一層惡化する事になるう

又公債の消化力がない事は、國ら現在の問題としてマーケット・オペレーションが行はれぬ等になれば日本銀行が引受けた公債も賣れずの持腐れとなり、且つ紙幣の回收が出來ず、延いて通貨の膨脹から惡性のインフレーションが出て來ないとも限らない

斯くて物價は昂騰し、金から物へと云ふやうな空氣も出來て、無暗に投資資本熱を助長し、預金、貯蓄を窮地に陥れ、信用制度の破擔を來す惧れがある。而して物價の騰貴に反して賃金俸給は餘り上らず特に恩給等により衣食してゐる者は、ずつと落伍者となり生活困難者が激增する結果、社會不安を增大し遂に如何なる事態を惹起するか判らぬ事になる。之は論より證據で世界大戰後にかける獨佛等歐洲各國の實情に徴しても明かである

事茲に至つては、國力は全く伸びなくなり、その上に立つて國防が如何なる備をなすであらうか。之れ豈に思ひ半ばに過ぐるものがあらう。之れ即ち財政と國防との調和を以て、一番大きな問題とせざるを得ざる所以である

又軍艦の製造にせよ四年間の年度割りがきまつてゐるから、此間の物價の急激な騰貴を見れば、きまつた金額では出來ぬ事になり、反對に一層經費がビン／＼多くなつて來ねばならぬ。他も亦然りで惡性インフレーションが起るに於ては今の國防計畫も完全に實現し得られぬやうになりはせぬかと思ふ。從つてどうしても國防計畫を現實にやり通す爲めには、之が條件として物價の狀態を安固せしめぬ事が最も大切である。それには惡性インフレーションを起させぬ事が必要である。之れ即ち財政を根本的に整ふる一つの方針として赤字公債漸減の声へが出て來る譯である。さうすれば將來はよくなるとの光明が認めらるるから、國民もその方針は、國防充實の方針からもその結論が出てくるものと思はるる

(四)

要するに、來るべき軍縮會議の結果は、いづれにせよ、國防費は增すべき傾向にある以上、此際財政と國防とをよく睨み合せて國防上、最も有效に且つ能率の上る所に力を入れねばならぬ。それには經費を選ぶ事が出來たら、それを選び他の方は多少遲延しても、全般の上で軍事費が段々增すものでないと云ふ所に持つて來なければならぬ

それが爲して出來ぬとすれば或は財政上の非常な收入增加が出來るやうな途を策し、財政の將來に明るみが來るやうな工作をなす事が必要である。その點が我國策中の國策として一番重要なものであると思ふ。之は獨り當局者丈けに止まらず日本人として苟しく茲に思ひを致して行くべきである(完)

延命

尾山篤二郎

家長のなさむとなせずなりて歳の首も頭を洗はぬ

家離り歳の師のつまたきを蔑年食へりなほも蔑年

蕎麥ぶ持煮の餅にからませて恥のみ多き齡重ねつ

正月はさすがに何處か長閑けくて命の延ぶる思ひなきにしもあらず

新年にありけるかもと外氣る空を空へうららかみ見つ

正月の衞生

食べすぎ 飲みすぎと 二日醉の手當

腹こはし下痢、慢性胃腸病の癒し方

緣起も榮養もよい正月料理

およそ、目出しいものは日の本のお正月料理でせう。——昆布がヨロコブに通じ、大豆、田作がマメ(健康の意)に通じ、數の子が子孫繁榮を意味し、屠蘇の酒は百藥の長といひ、勝栗はカツといふ縁起を喜んだもの——。

しかも、これらの食物は榮養分が多いので保健上にも大變よろしいのですが、現作お正月は食べすぎ飲みすぎの上に運動不足に陥り易く、爲に胃腸をこはして下痢したり、胃にもたれを感じたり、二日醉して心身ともに倦怠を覺えたりするよからぬ副物がつくのは感心いたしません。

それも、早く手當をすれば輕微く濟るものを、手當が遲れたり誤つたりして患にコジらせ、慢性の胃腸病にまで進んでやるに至つては折角の年頭の雄企も、爲に蹉跌を來す心配も起るといふもの……。

二日醉の病理とその手當

醫學上からいふと、二日醉は急性アルコール中毒と胃カタルを併發したものです。アルコールは腸胃からよく吸收せられ、速かに尿中に排泄せられる性質のものでありますが、多く飲みすぎると、これを吸收して排泄する働きが間に合はず、爲にアルコールが體内に長く停滯して中毒を起し、所謂、二日醉の徴候を現します。

それで、二日醉を防ぐにも治すにも、飲んだアルコールを早く體外に出して了ふ働き、つまり一種の新陳代謝作用を活潑にするのが第一です。——東京帝國大學名譽教授の某博士が、ヘーフェといふ酵母から造られた『錠劑わかもと』が、二日醉にとてもよく効くといつて飲酒家の間で盛んに服用せられてゐますが、これはヘーフェのもつ多種の活性酵素の働きによつて新陳代謝が促進されると同時に、利尿作用の著るしいプリン鹽基がヘーフェ蛋白から放生せられるからだと醫界では解釋して居ります。

食べすぎの手當

食べすぎて胃にもたれを感じ消化不良に陥ると、大抵の人々がヂアスターゼを服んでゐる樣でありますが、元來ヂアスターゼは澱粉を消化するだけの作用しかないので、食べすぎた食物の消化を計る上に於て決して萬全なものではないのであります。

ところが『錠劑わかもと』にはヂアスターゼは勿論お正月の食物に澤山含まれてゐる蛋白質を消化するプロテアーゼといふ要素や、脂肪を消化するリパーゼといふ要素が含まれてゐて、凡ゆる食物の消化、吸收を助けるばかりでなく衰弱してゐる胃腸の組織細胞に再生の活力を與へる多種の活性酵素を含んでゐますので、食べすぎ、飲みすぎから起つた胃腸病は素より、永年の慢性胃腸病でいろ／＼の療法も効がない場合でも、胃腸の機能を根原から恢復して、速かに治癒に向はしめる効果があります。

早期診斷

紙上健康相談所

腎臟炎

慢性にならぬうちに治せ

◇◆…咽喉や喉、耳、鼻等の病氣、稀には皮膚病、外傷、胃腸病、婦人病の經過中、または恢復期に起ることが多く、潜行的に來ることもありますが、大抵は急性に發熱、頭痛、呼吸促迫、腎部痛等があり、下痢を伴ふこともあります。

◇◆…次いでは浮腫が來て、尿が少くなり、その色が濃くなり、血尿を伴ふことが多く、血壓は昂騰しますが、計つてみると稀に浮腫狀ではないが、尿を檢査すれば蛋白質を發し、ネフローゼ(腎變症)を併發してゐる時は、殊に蛋白質が多くあります。

◇◆…慢性に移行すると容易に治りませんから、急性のうちに治すことが大切です。安靜にしてゐることが第一で、食餌に鹽分を制限し、蛋白質の多い食物や香辛料をあまり食べぬ樣、野菜や、果物、ビタミンに富んだ食物を多く攝る樣にします。

◇◆…注意しなければならぬのは、腎臟炎には飯さへ制限すればいいと考へるのは間違ひで、蛋白質の少いものに、むやみに利尿劑を用ひるのは、却つて腎臟の機能を過勞させ、その衰弱をつのらせます。

◇◆…腎臟炎の治療に近來推奬されてゐるのは、藻村名譽教授發見の『錠劑わかもと』の内服で、元來腎臟炎といつても局部的の病氣ではなく、一種の全身疾患ですから、『錠劑わかもと』の特長たる胃腸障害、利尿作用によつて、腎臟はもとより、全身の機能を活潑にするといふ方法が推奬されるわけです。

◇◆…『錠劑わかもと』を服用すれば、著るしく利尿作用が促進されますが、これは全身の新陳代謝機能が旺盛になる結果ですから、腎臟病獨特の利尿劑と違つて、腎臟の機能を疲勞するといふ心配はありません。のみならず『錠劑わかもと』は豐富なる榮養素、殊にビタミン類に富んでをりますので、この點からも全身の營養を盛んにし抵抗力を増強して本病の治癒を早めることが出來ます。

榮養界の寵兒

ビタミンとは?

世間の考へは間違ひだらけ

ビタミンの發見は、一九一一年米國コロンビヤ大學のフアンク博士が、米糠よりビタミンBを分離したのが最初だといはれ、其後各國の學者によつて續々と、A、C、D、E、F等が發見され、今後も尚發見されやうとする機運にあります。

併しビタミンの本態はまだ解決としないので、只動物實驗によつて、ビタミン缺乏食を與へるといろ／＼の病氣に罹つたり

發育が止まつたり

する事實から、その存在と種類とを知ることが出來るのです。

世間ではビタミンを榮養素の一種と考へてゐる人が多い樣ですが、ビタミンは他の榮養素の樣に、直接體成分やエネルギーとはならないのです。只體成分やエネルギーとなる蛋白質、含水炭素、脂肪、無機鹽等の榮養素は、ビタミンがないと、完全にその機能を果し得ない事になるのです。

例へば含水炭素は、ビタミンBが無いと完全に代謝されず、爲に消化不良、發育不良、精力減退、脚氣といふ樣な病狀を現はし、又灰分やカルシウム等の無機物は、ビタミンDの助けがあつて始めて完全に代謝されるので、Dの缺乏は灰分の沈着を妨げ、佝僂病や

抵抗力減退等を

惹起すといふわけです。

ビタミンは人體内では決して合成されませんから、これを含む食物から攝る外はないので、まづAを含むのは肝油が第一であり、Bは米糠、小豆等、Cは野菜に多く、Dは鷄卵といつた樣なものですが、結局心掛けてさういふ食物を攝るといふことは容易ではありません。

殊に日本人の樣に白米を多く食べる國民は、含水炭素代謝障害、即ちビタミンB缺乏症が非常に多く、また無機物を多く要する骨骼の不足が、Dの缺乏となり易い事はよく知られてゐる事です。

ビタミンに就いて說く事は多いものではありますが、元來さう多量に要するものではないので、所謂ビタミン劑などを、むやみに用ひたのでは効果が少いのみならず、却つて有害な場合もあります。

最も賢明な方法は、各種の榮養素やビタミンを、綜合的に含有した『錠劑わかもと』の如き生物劑を服用することで、この『錠劑わかもと』中には、ビタミンBが非常に豐富にあるのをはじめとしてA、C、D、E等のビタミンも適當に含まれてゐて過剰症など起す心配もなく、含水炭素を多く攝る日本人にとつては最も適當な劑であります。

殊に『錠劑わかもと』はビタミンの他にも、脂肪、蛋白アミノ酸、グリコーゲン、核酸、燐、カルシウム其他の體成分やエネルギーとなる榮養素をも含んでゐるので、その効果は一層强められます。

『錠劑わかもと』は東京芝公園大門際、榮養と育兒の會(振替東京一七〇〇番)から、廿五日分一圓六十錢、八十三日分三圓、ポケット型五十錢で頒布され、全國藥店でも販賣します。

無代進呈

胃腸讀本

日本食品 榮養圖表

年末年始の景品として『錠劑わかもと』お買上毎に全國藥店にて各一部づゝ進呈

(朝鮮浦項ミツワ農場葡萄園の一部)

專賣局御指定品

朝鮮浦項ミツワ農場葡萄園産 優秀自釀品

强壯保健に適し 血液の循環を促し 一杯は百藥に優る

美味滋養の强壯飲料

◎ミツワ甘味白葡萄酒

◎ミツワ・スヰート、ホワイト、ワイン

定價一壜金壹圓四拾錢

◎ミツワ甘味赤葡萄酒

◎ミツワ・スヰート、レッド、ワイン

定價一壜金壹圓四拾錢

强壯補血興奮作用卓絶せる飲料

ミツワ・スヰート・ホワイト、ワインとミツワ・スヰート、レッド、ワインの兩種は、靈藥人參の産地なる朝鮮の浦項ミツワ農場葡萄園産の優秀な原料から釀造されたもので、他のポートワインと異つて、毫も混合物の無い純良無比の甘味葡萄酒であります。特に一般の嗜好に適して、香味と甘味とに於て優れ、芳醇無比の食卓用優良酒として夙に賞讃されて居ります。殊に其滋養力は頗る豊富で

産前産後の衰弱、疲勞、心身の衰弱、病後、食慾缺乏、榮養不良、腺病質、結核性素質、其他一般の虚弱等

に飲用するに最も適せる、至純優秀の甘味葡萄酒であります。

ミツワ石鹸　ミツワ肝油ドロップス
ミツワスヰートホワイトワイン　ミツワ家庭藥
ミツワスヰートレッドワイン　サーワ化粧品

發賣元 東京・兩國 ◎丸見屋商店

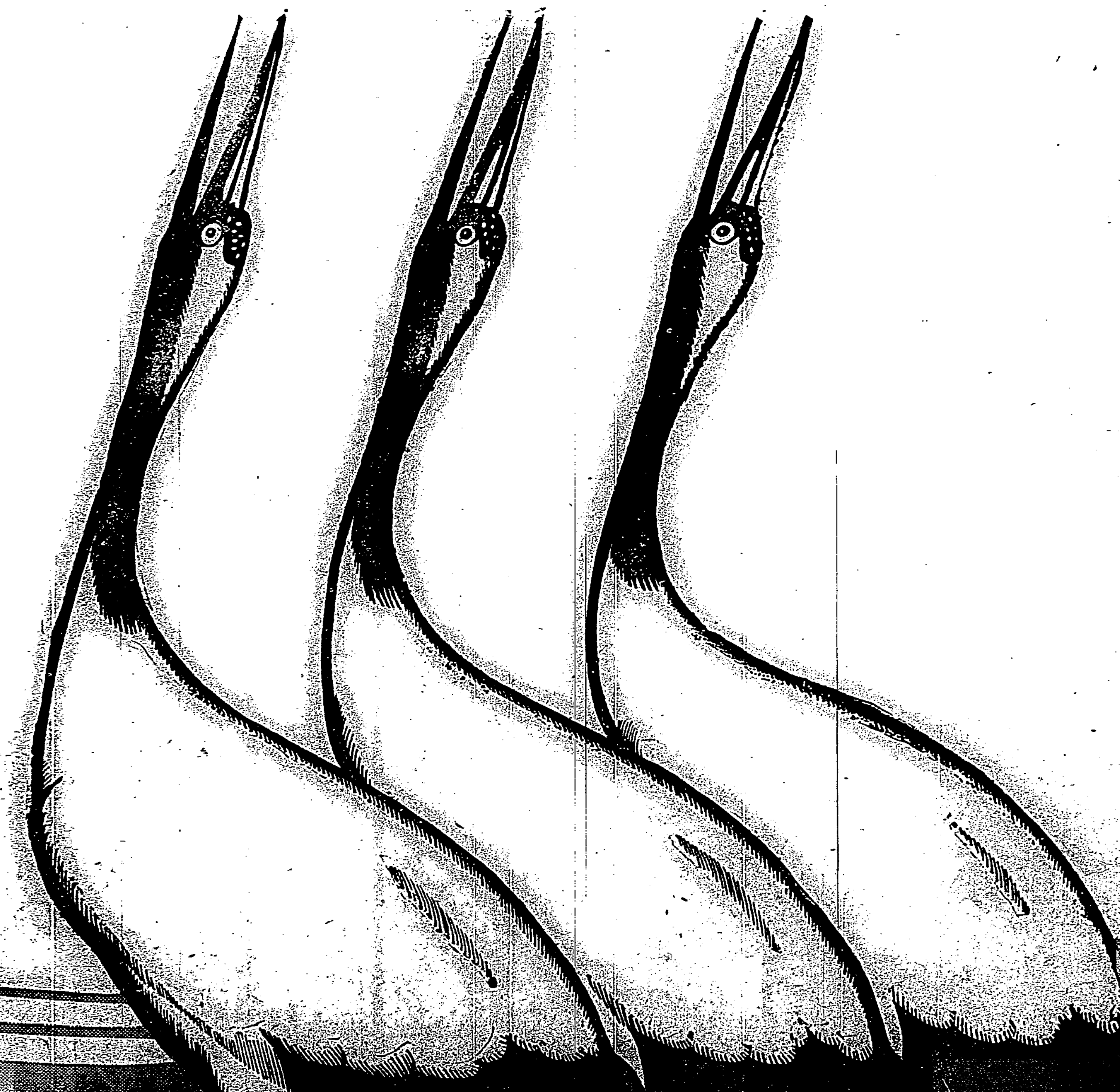
ライオン齒磨

新玉の年の初めに
大方各位に上る詞

一、我社、業を創めて茲に四十年、開拓に守成に、將又製品の改善に、販賣の清廉に、常に世界的記錄を示して未だ曾て之を失墜せざるものは、大方雨射の恩賚ありて、こゝに今日を贏ち得たるを信ずる也。

思うて此に到れば、江湖奉仕の念油然として湧き、斯業報國の志猛然として起るを覺ゆ。然も將來は長く爲すべきの施設は愈々罄きず。今斯の理想の域に到らむとするの誠實心を以て、大方年來の眷愛に酬ひ、斯の心機と斯の契機とを擧げて、大方各位の掩護に委ね、共存共榮の實と、其慶福にあづからむことを、各位の博厚なる御同情に愬へて、懇禱已む能はざる也。

昭和十年乙亥元旦



ライオン齒磨本鋪

株式會社 小林商店

本店營業所 東京市淺草區淺草橋際
支　　店 大阪市東區博勞町三丁目
名古屋倉庫 名古屋市西區菊名町四丁目

14—10.1

國民黨の轉向更生策

三民主義を止揚して孔子教の復活をはかる

孫文の『天下爲公』が實は儒學の精髓たるを認識

廣東黨部が昨年三月突如孔子祭を復活した。支那革命や三民主義の發祥地であるだけに、要な暗示を與へた。ところがそれから數ケ月經つて、七月南京の中央黨部は孔子祭の復活を決議し、八月二十七日

至聖の降誕 二千四百八十五年を期し、全國一齊に祭典を擧行した。曲阜孔廟の典禮には特に中央黨部代表として葉楚傖氏、政府代表として行政院秘書長褚民誼氏が出席した。國民政府成立後、孔子を孔子祭と云ふものが、國家的に取り行はれた最初のものである。孔子祭復活は何の動きであるか？一時の反動であるか？然らば

三民主義 を揚止又は止揚して、古聖への本格的な復歸を意味するものであるか？北伐完成數年間は、國民黨の全盛時代であつた。外に向つては國權回收運動となつて、英國、ベルギー等の在支租界地を、次々と回收し列國に對しては關稅自主權を承認せしめた外、國內では治外法權撤廢の機運すら釀成しつゝあつた。內においては、永らく國民黨に取つて

一大敵國 であつた東三省の地も、張作霖氏が爆死されてから、其の息張學良氏の易幟に始まつて其の勢力圏は完全に國民黨化してしまつた。曾て苦難、廣東方面に活躍を極めた共產運動は、今や所を變へて江西方面に移り、東三省の地に一層その病毒となり、思想的には左傾イズムの高潮時代を招來し、三民主義はマルクシズムの洗禮を受けてその反應は「打倒孔家店」の實行行動として現はれた。正に國民黨の黃金時代である。

滿洲事變 は驕る國民黨に致命的痛擊を與へた。外交戰を樣微にして、失地の回復に狂奔したにも拘らず『國際無外交』そのまゝ、實力無きところに何の效果も伴はなかつた。黨の面目が、三民主義理論を如何やうに振り翳して見ても、その空虛な叫びを國民に命冥するばかりであつた。國民黨理論が、國民大衆の前に其の權威を問はれるに至つた所以である。正に國民黨

自己批判 の時である。左へ左へと飛躍した三民主義理論を、再考する時である。孫理文の名言理念となつた要綱は「天下爲公」である。黨の連中はこれを約めれば「天下爲公」である。此の言葉は、中國五千年の政治と民の生活を支配した儒學の精髓である。而も何人が始めてこれを唱へたか？『大道之行也、天下爲公』と言つて『大同』を唱へたのは、孔子ではなかつたか？孫文は、時代と共に

孔學の精髓 を會得

するために『民のために……』云ふリンカーンの言葉を借用したまでである。第一回孔子祭の祭典が行はれた當日、南京では中央黨部により、戴季陶氏等が特に孔教を說いて、行はれたが曾ては左傾の黨人、黨の先覺者黨理論建設の第一任者であつた汪精衞氏が、その席上強調したことは、孔子の大同學說であつた。氏は言ふ。『孔子學說に對しては、區々の非難があるが何れも

糊塗荒謬 の論である。我々今日一切の學說思想は、何一つとして孔子に範圍しないものはない。詩、書、易、禮、春秋は、倫理、政治より、文學に至るまで凡そ中國文化の精粹である。孫總理の好んで用ゐる題字『天下爲公』は三民主義の基礎觀念であるが、これも亦孔子より流れを汲んだものである。此の偉大な聖師に對して、誣角の非謗を加へるのは

忘國買統 の沙汰と云ふの外はない』明治維新初に於ける我國の廢佛にも似た支那の孔子教、廟宇の毀壞等、凡そ「打倒孔家店」運動の猛烈を極めた當時を知る者、此の汪精衞氏の言を對照すると何人か今昔の感に堪へない者が無からう。汪精衞氏は同じ時の演說で、世間が孔子と諸子百家とを同時に從過して居るのにさへ非難を放ち、次のやうに言つて居る。『漢の武帝以前、中國には夙くより

諸子百家 が林立したが、何れも一家の言であり、孔子と比較すべくもない。例へば老子の道德經莊子の南華經の類がそれであるが、此等は到底、孔子の詩書を刪し、禮樂を定め周易を贊し春秋を作し、過去一切の學術文化を整理集大成し、これを後人に與へたのと、同日に論ずべきではない。實に孔學は至寶であるからこそ、焚火に遇うても、焚火未だ絶えず

ために、口筆手抄して依然三民を保ち、又

外冦侵入 して中國の政治軍事を征服して後も、中國の文化及び一切の學術思想は征服することは出來なかつた』元が宋を亡ぼして、元は却つて漢族の文化に征せられ、清は明を征して逆に中國の文學に叩頭した。東亞大陸のために、今正に萬丈の氣を吐きつゝある日滿帝國が、支那にも增して儒教の實踐躬行者であり、新興滿洲國が、孔學の精神に則つて

王道樂土 の建設に着々實績を擧げつゝある時、國民黨なるものが翻然我に歸るところあるのも當然と言はなければならぬ。唯我々が茲に注意を要するのは孔學復興は三民主義の揚棄を意味するかである。我々の見るところでは、孔學復興は三民主義理論の訂正に止り、三民主義そのものを捨てるものではない。國民黨の

天下爲公 が旣に孔子に發源して居り、其の他孫文自身の思想的動向には、古聖賢を慕ひその教を如實に現世に再現したいとの意圖が充分伺はれる。彼の三民主義講說や、孫黨階等には歐所に斯うした彼の創意だと言はれる五權憲法綱にしても、監察、考試の二大機能は、在來古くから

支那王政 に行はれたことを、近代的に法制化したに過ぎない。して見れば今日の國民黨は古學に從つて其の理論を訂正する餘地は充分ある譯だ。今日黨によつて唱導される孔學復興は、實は國民黨自身の更生策だと見てもさしつかへあるまい。

時局縱談（上）

非常時に際し大石正巳翁に物を訊く

明治維新以來の政治家として僅かに殘る人の一人に大石正巳翁がある。翁は旣に政界を引退して房州の海濱に閑居し讀書によつて國民指導をなしてゐるが今年八十の高齡に拘らず矍鑠、往訪の本社記者に時局を談じた

軍人の政治干與

記者「今日本の軍部は非常に政治的に進出して來ましたが、さう云ふことは日本として良いことでせうか、或は戒むべきことでせうか。」

大石氏「軍部が內閣の仕事に喙を入れたり、彼れ此れやると云ふことは、明治天皇の時代に定められた所謂憲法とでも言ひませうか、其勅諭の御精神にも悖つて居る。それから全體の世界の形勢から言うても、是は甚だ戒むべきことであるまいと私は思うて居る。是は內閣の命令に從はさせなければいかん。」

人格者の缺乏

記者「政黨の更生策と云ふやうなものはどう云ふ方法でございませう。」

大石氏「現在の政黨を一先づ解散して再組織することぢや。そしてそれはちつとも構はないことだ。それは既に明治年代にも幾度もやつて居る。政黨を解散することは今日のやうな交通の便利な時には一日の間に出來る。」

記者「併し非常時は立派な大政治家が居つたので、それが出來たのでせうか、今でも……」

大石氏「それは今でも何時でも同じことだ。唯人間が墮落してると云ふ事は確かである。是は其時分から見れば……さうして人格者がない。天下の信望を贏めると云ふやうな人格者がないと云ふことは是は甚だ缺點である。併しながらそれは段々やつて居る內にさう云ふものは出て來る。今でも例へば倫敦會議の豫備交涉に出てゐる山本少將と云ふ人のやり方は仲々成績が宜い。あゝいふ人は今澤山出て來て居る。陸軍にも澤山あるらしい。がどうも人が眞面目でないと云ふことか、是がもう一番いけない。眞面目にやつて居ない。皆唯營利主義ぢや。」

記者「先生方が政黨人として御活動になつて居つた頃と、今の政黨人の生活とは大分懸隔がありますね。」

大石氏「うん、それはもう大變なことぢや。」

記者「私共、後輩として現狀を見ますと云ふと、榮辱時代に行つて居ると思ひます、茲に於て今の政黨に向つて活を入れて戴くことが我々として望ましいことなのですが……」

大石氏「それは宜い、活を入れると云ふことは宜いことぢや。又其時分には活を入れた……例へば一旦賊名を受けたけれども勝海舟等は、あれで世間からは大變に嫌はれて居つたにも拘らず、出來るだけ働いた。それから今の主義の如何に拘らず、それは勝安房一人でない、皆、あの時に佐幕派第一の者も、板垣退助でも、西鄉隆盛でも、皆が今日から云へば、壯士だつたが、何れも一生懸命にやつたのぢや。いまはそれがない、昔の人は君國の爲に常に死を覺悟してゐたものぢや、名利や權勢は彼等の問ふ所ではない。いかなる難局も命をかけてやつたので苦もなく出來た。例へば、この時代の空氣を知つて今日でもまだ殘つて居る人で西園寺公望でも、牧野でも其當時の氣持を知つてゐる。それからまあ各政黨の首領株にしても、今日まだ如何に變へたりと雖も、世間に多少信用が殘つて居る人がある。それらがこの眞面目にかゝつたら、何でも出來る。」

刻下の國際展望

記者「現在の日本を非常時だと言つて居りますが、先生方の御覽になつた眼は如何でございませう。矢張り非常な危險線に日本が立つて居る時代でございませうか。」

大石氏「うん、それは見樣に依るのぢや、隨分危險な方から言へば危險であると思ふのぢやね。それは何故かと言へば、例へば今倫敦の會談をみると、是はどうしても日本の思ふ通りにも行かぬ、亞米利加の思ふ通りにも行くまい。どうしても是は、此點に於て纏まらぬ。破れるに決まつて居る。そこで戰爭と云ふことが考へられる。茲で例へば明治維新の時のやうに、それは勝負でなくても、何處からでも若手の、元氣なものが出て來て、どうせ戰ひになるなら先づやれと云ふものが出たら世論をぐん〳〵戰ひに導く、そして一つ打擲ければもうすぐでも戰ひになる。けれども現代には其勇氣がない。眞面目でないからまあ戰ひにはなるまいと、斯う見て居る。それは世界の平和の爲に果してそれが宜いか、惡いかと云ふことになれば、是は見樣に依つて違ふ、どうも日本の前途の爲めから云へば、茲で一概に其目前の平和を求めて俗人の心を安んずると云ふやうな平和は、却つて日本の爲にもならぬかも知れぬ。思ひ切つて一つ列國が革命時代のやうな元氣を發揮して愈々平和が永久に保てぬ以上は立直してしまふが宜いかも知れぬと私は思つて居る。けれども是は今日平和を愛好する時代に、こんなことを言ふと、一向聞いてもらへぬことであるし、又實際はさう易々もなく急に行くことでもあるまいが、どうせいけぬならば強硬策を執つて貰ひたくない、妥協妥協と云ふが、妥協と云ふ事はどうであるかと云ふと、結局自分の身を計る事で、英吉利でも、亞米利加でもそれだ、世界中、自分の爲めのことばかりしか考へて居らぬ、さう云ふ平和を結んで貰つた所で、日本の爲にはならぬ、もう其時勢からしても、凡そ平和と云ふものは、十年續いたらば亂れると云ふことが歷史の通例になつて居る。最早歐羅巴大戰以後今日まで、殆ど廿年になつて居る。この見方からすれば再び戰ひが起る時機だ。危險だとか、非常時だとか言つて、さうそれを惧れる必要はちつともない。」

非常時の今昔

記者「軍人や軍部にはさう云ふ急進的な考へを持つた者が多いやうでございますね。」

大石氏「さうらしい。例へば此間滿洲で日本人茲に在りと氣勢をあげた村上と云ふものが飛び出して來たのぢやが、あゝ云ふ人間がまだ澤山ゐる。だから實際やつたならば、さう心配はいらないと思ふな。それは日露戰爭の前、其時分に對露同志會と云ふものを作つて俺も頻りに論說をやつたり、色々其有志家の驥尾に附いてやつたが其時分は仲々今日のやうなものぢやない、とても露西亞とやつたら日本が微塵になるだらうと云ふ考へを有力な人が持つて居つた。その當時英吉利大使であつたか、外務大臣になつて居つたか知らぬが加藤高明等もまた、彼はとても日本は戰爭が出來ぬと云つてゐた。財政から見ても日本がうんと貧乏をしても、それは三、四億萬の金しか出來ぬ。そこでざつと勘定しても、露西亞を滿洲から打ち拂ふと云ふことが、仲々容易な金ぢや出來ない、それでまあ開戰した所で八億の金は要る、所が仲々八億どころぢやない、日本へ金を貸す國は何處にもありはしない、それでどうしても金の上から見てもいけない。斯う云ふ論であつた。で頻に有志家の運動に反對してゐたのぢや、それから主戰論者の側から云ふと其反對だ、其時分の滿洲に、我々も行つて見て來たのだが、露西亞の軍人と云ふものは、旅順港が其の時の海軍根據地であつたが、海軍の士官等と云ふものは、自分の國から妾や子を連れて來て、さうして盛んに遊蕩をやつたり、酒宴を催したりしてまるで秦の始皇帝か何かの奢侈をやつた時のやうな有頂點になつて居た。其有頂點になつて居る奴が、日本人の士官等に會ふと云ふと、どうせ戰ひになるだらうが、戰ひは戰ひだが、お互ひに仲良くしよう、戰ひになつたら逃げるから、其時には旨く逃げさして呉れと、冗談だらうけれどもさう云ふことを言うて居つた、それから山海關邊りへ行つて見物したことであつたが、この情勢からしてもう陸軍も海軍も戰ひになつたらそれは露西亞が負けるに違ひないと云ふ考へを持つ位であつたのぢや、そんなことを見て來て、話をすると、誰も信用する人がなかつたのぢや、そんなこと言ふのは馬鹿だと云ふのであつて相手にしなかつたが、それから戰ひになつて、露西亞と戰つて日本が勝つ……さうすると、當時、經濟會と云ふものが朝野の名士を以て出來てゐたが、其經濟會で每月外交のことやら、財政のことに付て會合をして居た。其席上で我々はいつも內閣を攻擊して、元氣なことを言うた。が、あの時にお前の言うた通りにどうも露西亞はものにならぬ、お前の觀測も、存外當るものだと言はれたことがあつた。……近頃では、各國とも飛行機や潛水艇をして來たが、この飛行機やら何やらと云ふ人に依つて近々でも戰ひと云ふことになつたらば日本人には及ばない。所謂精神の點に於て確かに戰ひになつたら『一も二もない』。」

裸の正月

寒い寒い冬だといふのに、これはまた有名なアメリカの避寒地マイアミでは海岸の諸プールで眞夏のやうに水泳着ファッション・ショウを催ほし裸の正月で賑はつてゐます

臺灣を根據地として大いに海外に發展せよ

官民一致の努力を望む

前臺灣總督　太田政弘

多難なる昭和九年を送り、茲に諸君と共に新年を迎ふるに方り、所感の一端を陳べて迎春の辭に替へたいと思ふ。

一、顧みれば、昭和九年は內地は各種の天災に見舞はれた年であつた。先づ九州山陰地方の旱害に次ぐに、東北地方の冷害を以てし、官民はこが救濟に日も之足らざりし間に、關西地方に於ける世界未曾有の風害を以てし遂に災害救濟の爲め臨時議會を召集するに至つたのである。此の間に在りて我臺灣は天然の惠澤に浴して產業益々盛んにして平穩無事な新春を迎へ得ることは、誠に幸福なりと謂はねばならぬのである。

二、更に目を世界列國の主なる出來事に注目するならば、滿洲事變を一轉機として世界の舞臺は一大轉換期に入れるを感ぜしむるものがある。即ち昭和六年、我が關東軍が自衞の立場より斷然起したる日本の正義の行動は、直ちに三千萬民衆の共鳴する所となりて遂に王道滿洲國の建國となり最初の中にこそ世界の疑惑多の疑問其の正體にかけて居つたが今來俄かに三年にして帝制を實施し國礎愈々固く歐米の識者をして其の認識を是正せしめつつあるのみならず歐米諸國に中毒せる中華民國の識者も亦漸く歐米の賴むに足らず日本を離れて東洋に國を樹つの不可能なるを認識するに至りたるは極めて當然なる事とは云ひ乍ら顯著なる變化である。殊にロンドン軍縮豫備會議に於て帝國代表が堂々帝國獨自の所見を披瀝して英米兩國を指導しつつあるが如き之が十二年前米國の必勝的提案に對して不本意乍ら之に服して受諾したる當時に比し誠に大なる國際的變化にして邦家の爲め誠に痛快とする所である。

三、此間にありて臺灣は昨年中年來の懸案たる日月潭水力工事完成し本島の資源に加ふるに更に低廉豐富なる電力を利用する工業の勃興に一歩を踏み出して居る。若し夫れ臺灣が三十餘年來蓄積せる實力を以て近く米國の羈絆を脫して獨立せんとするフイリッピンと經濟的に提携し新興滿洲國に人材を送り並びに南支那に貢獻しならびに南洋に向つて本島文化の恩澤に浴せしむる事を得ば臺灣の文化的價値を發揮する所以であらうと思ふ。要之從來の臺灣は內部完成に全力を傾注した。然し今後の臺灣は宜しく臺灣を根據地として大に海外に發展するの覺悟と準備を要す、かかる目標の下に官民共に努力すべきであると思ふ。

うらやまれて春を迎へる人（2）

淺草の一隅から拾はれた新進女形のピカ一

小佐川鶴之丞

東寶グリルの新裝を誇る瀟洒たるティー・ルームの一隅で、昨夏我が劇界の重鎭坪內逍遙博士にその演技を見出されて、一躍日本一の名女形歌舞伎俳優と折紙をつけられたんでのところ、新舞踊役者の振る舞のやうに見られてゐる淺草公園の低級芝居に一生を棒に振らうとしてゐた澤戶屋から拾ひあげられた小佐川鶴之丞君は『歌舞伎俳優』といふ明治四十二年の出版にかゝる古は歌舞伎俳優の人名鑑ともいふべきものゝ中のその一節に曰く『子役、鶴之丞の努名』は明治三十年七月の出生で生れたのは京橋の築地である。父は元大阪の人ではあるが、京都生れで、は稻荷町の名をひいてゐる。四家の舞臺上の努合から內地に在住して知り合ひ筋なる大阪の尾上榮之助の家へ預けられたが、自分で芝居に出て見たくなり、同年の二月榮之助が金澤のイナリ座で袖裝をした時に、お君をつとめたのが初舞臺で、藝名を榮三郎と名乘つた。なり、六歲の時京阪間の各劇場を右團次のお園と京極內匠、鷺助の六助にお園の時をつとめて子役名を賣した」とある。これが十二歲の時で當時は市村座小芝居、少年歌舞伎は至實に大司だといふから相當なもの。

……◇……

記者「坪內博士の方から話があつたのはいつですか、坪內博士が毎日のやうに貴方の芝居を見に行つてゐるといふことは聞きませんでしたか」

鶴之丞「坪內先生が淺草へ私の芝居を見に來られるといふことには、ちつとも知りませんでした。ずつと後になつてその話を聞いた時、私は先生がこんな卑俗な、小さい芝居小屋の中にまで御老體を運んで芝居や役者の演技を熱心に研究してゐられるといふことを知つて勿體さに腦を打たるゝ思ひをしたのです。今になつて思ひ出すのですが、先生が私の出てゐる芝居小屋へ私の芝居を見にお出になつたのは本所の壽座に出てゐた頃で、ある日、私は途ばなかつたが、何でも小屋の使ひの者が私のブロマイドが欲しいがあつたら二三枚くれろと言つて來たので、よくヒイキのファンからそんな要求は時々受けて馴れつこになつてゐますし、手もとになかつたのでその內送つてあげようと返事してそれつきりに忘れてしまつてゐたのです。それから間もなく私は淺草公園の宮戸座に移りましたがその內坪內先生の代理といふ方が私に是非お目にかゝりたいといつて樂屋をお訪ねになり、この時私の扮裝寫眞を先生に送つてあげるからと要求された時、以前のことを思ひ出して、こいつは濟まなかつたと思つたものでした。その內東京寶塚劇場が新しく俳優を集めて東寶劇團をつくることになり、坪內士行先生がこの劇團關係者でしたので、では淺草のやうなところから早く足を洗つて、東寶の舞臺となり、ここでみつちり藝を磨いて見ないかといふことになつて私も願つてもないことなので喜んで東寶の芝居に出ることになつたんです」

記者「それで貴方の初舞臺はいくつの時ですか」

鶴之丞「四歲の時、金澤の若宮座で『神秘』の君をつとめたのが初舞臺でした。その時の藝名が尾上榮三郎です、大體、私の父親といふのは大阪の人で、京都で料理屋旅館業を營みましたが、前から芝居や義太夫が大好きでこの道の素人とも常に往き來をしてゐたものです。そこへ私といふ男の子が生れたのですが、父親は子供を育てるにはどうも氣候がよくないといふので四つの時に內地へ引揚げて來たものです。そして假りに住ふやうになつたのが尾上榮之助（現在菊右衛門といふ）といふ人の家で、その內、どうした今度金澤でやる芝居に一人子役が入り用なんだが、一つお前の坊やんを出して見ませんか、と言はるる儘にすゝめられて乘り出したやうなもので、私としては殆ど今では記憶がない位です。それ以來榮之助さんの弟子となり、榮三郎の名を貰ふやうになりました、次の舞臺が六歲の時、大阪の中座の毛谷村で、先代右團次や鷺助などとお園の役をつとめて藝名を子役と藝名したものでした」

……◇……

記者「坂東彥三郎の弟子になつたのはいつでしたか」

鶴之丞「丁度大正八年の時で、それまでどつちかと言ふと少しのんきに過して來た方なので、も少し何とか腕を磨かなくてはと發奮して師匠についたのです。それから大阪の延若の附人となつて地方を巡業してまはり、大正十一年に現在の『鶴之丞』の名を貰つて名題俳優となり、坂東鶴之丞と名乘つて菊五郎と一座してゐましたが、大正十四年に事情があつて師匠の門から離れ素寺猿歩の身となつてしまつたのです。師匠から離れる時には私も非常に惱みました。師匠に對しては大恩があるのに、どうしてもこれから離れて一人歩きをせねばならぬといふ羽目に陷つて、私は一時すつかり將來の光明を失つた氣持でしたが、このまゝくたばつてなるものかと勇を鼓し阪東鶴を返して新たに小佐川鶴之丞と改名して現在に至つてゐるのです。この小佐川といふのは、文化年間に小佐川常世といふ歌舞伎役者があつたのですが、これが私の父方の血筋に當るのでそれからとつた名で、その小佐川家は現在も料理屋を營んで榮えてゐるます、この常世は市村家橘の弟子だつたので、音羽屋とも全然無關係ではないのです」

記者「それから淺草生活が始まつたんですね」

鶴之丞「いいえ、それまでに三年ばかりも旅興行で苦勞しました。師匠の許を飛び出すと、すぐどこと言つて行き所もなく、その頃名古屋方面を打つて廻つてゐた歌舞延二郎一座に加はつて裏日本一帶を巡業してまはつたり、又阪の一座に加はつたりして散々旅を歩いた末東京にかへると、幸ひ壽座から話があつたので、やつと東京に落着くことが出來るやうになり、ここでざつと三年間働きました、それから淺草の宮古座に出るやうになつたのです」

……◇……

記者「淺草で役者が人氣をとるのはむづかしいさうですが、淺草の觀衆の好みとか氣とか言つたものはどうですか」

鶴之丞「あれでなか〳〵面白いところがあると思ひました、私のやうにまだかうしたとく言へば大衆的娛樂の盛り場、惡く言へば俗惡たちつとも臨席や高尚さを要求しないやうな所での芝居に馴れてゐなかつたので、どうすれば受けるかについて苦心しましたよ。しかし、結局、大向ふに受けるといふことが、自分の今まで磨いて來た藝を殺す結果になると氣付いた時はゾツとしましたね。いつまでこんな生活を續けなければならないだらうかと思ふと、暗い氣持にならずにはゐられないのです。それに淺草は御承知の通り、晝夜二回興行で、同じ芝居を一日に二度打たねばならないのです。私は女形役者ですが、ここでは女形ばかりやつてゐる譯には行かないので、武士にもなり、惡漢にもなつて舞臺で立廻りをしなければならんのですから骨が折れます、朝十一時に始まつて十一時に終ると、それから次の出し物の稽古ですからてんで身に藝をつけるとか磨るとかいふ時間はないのです。そこへ坪內先生のありがたいお手引きを受けた譯ですが、實にこれからの新しい芝居には是非西洋の藝術のいいところも取入れなければならぬといふので、舞踊藝樂や西洋舞踊などを初歩から一生懸命やつてゐるところで、自分としては大器な藝成をモットーとして新らしい國民の藝道につくしたいと思つてゐます」

元日のホテル

山口誓子

珈琲の香にたつ年のこの日け

元日を外人さいころ遊びせり

元日もホテルは靴を磨へり

正月の髪を映附に追に見き

ホテル客あり元日の夜に入り

哭くな青春（88）

三上於菟吉　作
吉邨二郎　畫

事務所で（その一五）

「ふうむ、その外套一枚買つてやつただけで、僕は君から感謝される資格を得たのかなあ。」

野山は、けい子の、お世辭めいた言葉を聽くと、まづく謝せたげに——

「勿論、僕は、君のやうな、行きずりの人に、一々心の底を解剖して貰へようとは思はないよ。もしだ、眞に——」

と、彼は、食卓を、トンと叩くやうにして、

「そのときには、僕は、いつも思ひ切つて、心中でも何でもしてしまふよ。」

「え、心中？」

と、けい子は、びつくりしたやうに、目を水だきの皿からあげて叫んだ。

「うむ、心中——」

と、野山は、大きくうなづいて、

「心中こそ、絶對のものなのだ、愛は死だ——ほんたうに愛し合ふ男女が、どうして、こんな汚らしい人生に、迫害されたり、虐げられたりしながら、生きながらへてゐることが出來るものか！」

「さうよ！ ほんたうに、あたしも、さう思ふわ。」

と、けい子は、急に、食慾にくらまされてゐた、靈感い魂を呼びおこされたやうに言つた。

「あたしだつて、何度、さういふことを望んだでせう——でも、出來なかつたこと」

「さう、たやすく出來てたまるものか——」

と、野山は、また、茶碗酒を、ぐいと引いて、

「さういふ相手が出來たとき、われわれはもう生きてゐないはずのもの——そこに、僕のいはゆる生活の中の切れ目があるのだよ。」

彼女はつぶやいた。

「人によつていろ〳〵ぢやないか。僕なんか、事業がいのちのやうな奴と言はれるだけ、家庭はなければないほど、恐しくなると言ふときがあるのだ」

野山は、電氣の方をみつめた。その目には、はなれて來るやうなものを思ひ出してゐるやうなさみしさがかゝれた。

「そんなら、あなた、この家庭へおかへりになるがいゝわ——あたし何か、個室なんかしなかつたのだけれど——あたしが、本當に土げやうと思ふ東情より」

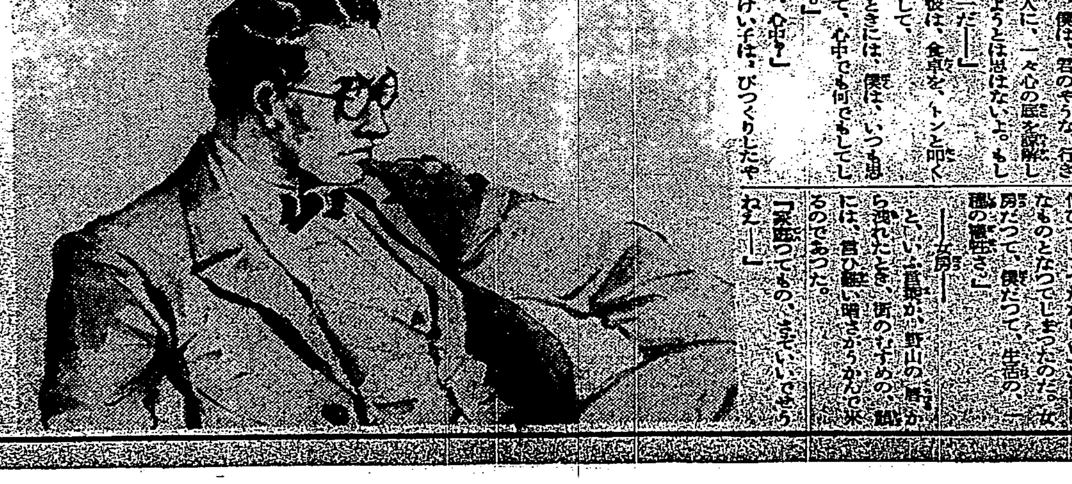
けい子は、皮肉とも知らず言つたのだつた。彼女は、野山が自分のすがつたいつくしみは、個人な家庭とかの方が——なる同情以外のものではなかつたのを、はつきりと知つたのだ。だが、眼前なる同情にすぎないのなら、受ける必要がないと言つて彼女は投げ返す努力がどうして彼女に出來るだらう。彼女は、輕く嘆息して、身をつゝく外に手がなかつた。

「結局、男も女も、お互ひに魂のどん底まで觸れ合ふことが出來なく出來てゐるのさ。僕はいつも思ふのだが、女房と知り合つたとき、なぜ、一思ひに死んでしまはなかつたらう——あの人と二人の間の愛さへ、二人が、つい、生き伸びてしまつたからいつか眼鏡なものとなつてしまつたのだ。女房だつて、僕だつて、生活の一種の犧牲さ」

——女房——

と、いふ言葉が、野山の唇から洩れたとき、街のむすめの靈には、言ひ難い暗さがうかんで來るのであつた。

「家庭つてもの、さうでせうね——」



謹賀新年

臺北市内の著名なる各商店（順序不同）

三井特製　▲▲烏龍茶（新高、次高）　▲新茶（發賣）
内地へのお土産には頗る好適品
茶問屋　㋑辻利茶舖　臺北市榮町二丁目角　電話一九四五番
愛國生命保險會社代理店

明けましてお目出度う
本年は尚一層全島の蕃産物や珍品を豊富に取揃へ勉強専一に致しますから御旅行の節は是非御引立願ひます
臺北市榮町四　三共舍臺灣物産店　電話七一六番

◉内地土産と云へば全島の珍品が良く揃ふて居る
臺北本町の生蕃屋本店　電話五一〇番

内地土産
全島特産珍品　多種豊富に揃へてあります
最も勉強と親切なる弊所へ御利用下さい
臺北市榮町　電話九七四番　山一物産販賣所

臺灣物産
蛇皮鞄用細工　蕃布鞄用細工　大甲細工品　蕃竹細竹細工　名木工藝品　籐細工品
平野商會　臺北市榮町　電話八一七番

新時代の贈物　流線型クリップ付
萬年筆……二・五〇以上
ペンシル……一・〇〇以上
セーラー萬年筆
臺北市樺山町二　セーラー萬年筆臺灣出張所　電話四九五番

初春のお座敷に　宣徳火鉢　花瓶　掛物　美術床置物　朱檀製茶棚　盆栽や水盤　薄端　花生　花臺　竹の二重　其の他　大特賣提供
▲宇治茶▲紅茶▲烏龍茶▲各種
臺北市京町　電話一七四番
園　盛進商行茶舖

◆勉強する店◆
洋家具と椅子の註文なら最も勉強する弊店へ是非御用命を
臺北市大和町　電話二九八
久保椅子店

明治クリーム白粉　牛乳石鹸　シスター石鹸　アルボース石鹸　各種化粧品　臺灣代理店
ヤマニホーサン石鹸　發賣元
合資會社　西川商店　臺北市大和町　電話[illegible]

やけず　さびず　くされず
アスベスト製　浅野セメントスレート
浅野スレート工事部　臺北市北門町

アース　ミルクココア
海陸物産　鰹節　創鰹節製造販賣
長崎Ⓗカイ石鹸　㊉最上油
モ金柿商店　臺北市榮町四

クラブ化粧品　カテイ化粧品　クラブ特級化粧品　クラブ特定化粧品
總代理店　神木洋行　臺北市京町三丁目

㊀秋元洋服店　臺北市大和町三ノ二　電話九二番

歐米直輸入　高級既製品各種
MF　古川洋服店　臺北市榮町三丁目　店主　古川正義　電話一七八六番

男女洋装服地専門店
古川義商店　臺北市京町一ノ三八、三九、四〇　店主　古川義光

新調高級洋服　マント　インバネス
吉井洋服店　同基隆支店　京町一丁目九番地　電話二三八二番

勉強店　子供洋服帽子　靴下靴類　専門
Ⓡ行成商行　臺北市本町

新春の洋服の御新調なら
奥本洋服店　臺北市榮町二丁目　店主　松島吉之丞

臺北　玉屋婦人服店

和洋雜貨と洋服の御用は
山田洋服店へ　臺北市榮町三　電話九八七番

勉強と親切に確實本位の呉服と古著は
臺北市臺日社前　阿部商店
◉貸衣裳も致します
臺北市榮町　電話三二八五番

弊店春衣の大勉強振りを見て下さい
呉服古著商　たつき衣服店
貸衣裳は特に勉強致します
臺北市榮町三丁目九番地　電話七六八番

呉服太物　白生地類　洋反物　美術京染　商
山城屋呉服店　臺北市榮町二丁目二十三番地

日本ゼネラルモータース株式會社特約販賣店　ダンロップ自動車タイヤ
シボレー號　オークランド號
柴田自動車商會　臺北市表町二丁目二十六、二十七番地

◉糸と綿
お正月の御家庭に毛糸と各種糸類は
糸物商の秋本糸店で　臺北市京町

ウインドの飾附には
秋本商店装飾部　臺北榮町三丁目　電話參九壹八番

春のお仕度は勉強の専門店
蒲團、座布團、毛布、綿、蒲團地
秋本蒲團店　臺北市榮町

自轉車の選定と修繕なら親切本位の
千代田組に限ります　榮町四

寫眞の事なら専門の弊店を御利用下さい
寫眞材料　理化學器械　
フタバ寫眞器部　臺北市榮町二丁目

諸紙文房具卸商　官衙御用達
利江里日利三郎商店　臺北市榮町二丁目　電話五二九番

活版印刷
Ⓨ山口商會　臺北市築地町一　電話壹九八〇番

印刷　メイシヤマハ

新年の御用意に野口はかま店を御利用下さい
臺北市京町二丁目

化粧品と半エリは
夏川小間物店で　臺北市京町一丁目

室内設計、装飾圖案、室内装飾品
毛織敷物類、西洋家具、電燈器具
横山商店臺北支店
横山商店設計部
臺北市榮町二丁目二十一番地

御雛人形　教育玩具　卸商
村山商行　臺北市本町

萬漬物類　食料品問屋
酒巻本店　臺北市榮町

食膳には最も新しい品の揃ふた伊田の食料品を
和洋酒類　洋食料品
伊田商店

酒食糧品商
藤山商店　臺北市新起町一　電話二七〇九番

正確迅速御用は　酒類、食料品、荒物類
㋳田中商店　臺北市北門町二

御菓子　梅月堂　臺北市榮町三ノ五　電話六四八番

有效無比　安全消火器（發明品）一個壹圓三〇錢
一井商會　臺北市本町　電話四七六番

大脇白蟻驅除豫防研究所臺灣支部
臺北市本町三ノ一　大脇爲徳

高等文具が豊富に揃ひました
㋐惠比壽屋商店　臺北市本町二丁目七番地

一世御道具　佛壇
菊谷隆一商店
菊谷商店進物部

陶器卸小賣商
㋣富村商店　臺北市榮町二丁目

安い自慢の陶磁器ならなんでも有ります
㊥中林陶器店

確實本位　眼鏡と金銀細工　金屬品とサンゴ
末吉山金堂　臺北市榮町

松下電器製作所臺灣配給所
サイモトロン眞空管臺灣配給所
電器、自轉車、銃砲火薬問屋
合資會社　小林商店電氣部

ラヂオ機械
中川章輔商會　臺北市本町四丁目

初春の帽子と和洋雜貨は
㊍カツラ洋品店　臺北市榮町

◆春の和洋雜貨と羅紗製品の新荷が
㊌川崎商行　臺北市京町

最新和洋雜貨なら
瀧村兄弟商行　臺北市本町

初春のお化粧には化粧品小間物は専門店の
池森小間物店　西門町市場

春の御用意に
和洋雜貨と宣徳火鉢
松原商行　臺北市本町

安くて各種豊富
帽子は専門の臺帽に限ります
帽子専門店　臺帽公司　臺北市本町通り

お望みの世帯道具が全部揃ひます
大倉分店　臺北市榮町二

ビツクリスル程安くて
最も嶄新の和洋雜貨の御用命なら
勉強の元祖　中村商行へ

つちや足袋　アイデアルカラー　臺灣總代理店
ミツワ印メリヤス特約店
菊水印加工品發賣元
奥野常太郎商店

縁起の良い春袋賣出し
和洋雜貨　村西商店　臺北市京町一

綿布毛織　各種織物
株式會社　日進商會　臺北市本町一丁目

初荷　富國入荷
初春の御旅行に
鞄と靴と云へば
最も勉強する弊店を
刑務所製品専賣所

革工商
天森田商會　臺北市本町　電話壹六〇壹番
南門　千歳町市場支店
基隆市義重町　森田商會基隆支店

初春の御旅行には
内山の鞄と靴
新高運動靴販賣元
㊦内山鞄靴工場

◉御履物は日ノ原で
特許
日ノ原商行

新春の高等靴の御用と運動靴及び附屬品は勉強専門の弊店を御利用願ひます
加納屋靴店

臺北榮町
金庫の藤川

漆は△齋藤漆に限る
△齋藤漆臺灣販賣
上田屋商店　臺北市京町

全島唯一のタオル　ハンカチーフ　卸商　製造販賣
山陽商會　臺北市京町

蓄音器と修繕は
美正堂

最新柄の洋傘とショール
日進洋傘店　臺北市本町二　電話四六六番

實用百貨新品豊富
日進マーケツト　臺北市本町一　電話二二〇八番

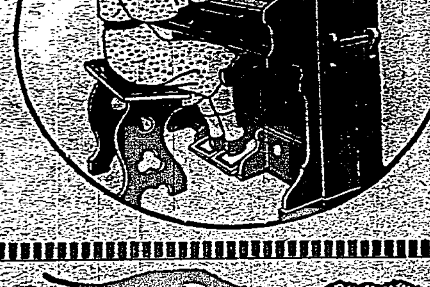
新年宴會の人氣者
三拍子揃った　味のよい　香りよく　色しろく
忠勇の樽酒

何はなくとも朝は味噌汁
ほまれ味噌
發賣元　龜甲萬醬油販賣會社

◎最も安値な
高砂のスキヤキと
輕便な現代的
大衆食堂
高砂ビヤホール　臺北市西門市場前　電話參〇四〇番

酒類食料品　柏木商店　臺北市樺山町十二番地
高砂生ビール特定販賣所　冷凍物販賣　同所
柏木商店麥酒部

春の御家庭に
山葉オルガン



日本樂器會社出張所
臺北市榮町

上位打者の猛打に 兩軍打撃戰を展開

激戰遂に十回11對10 "早大CBを屠る"

早大對CB野球第一回戰は四日午後一時二十九分から圓山球場で擧行、先攻は早大、審判は球審飯島、壘審大澤、山木、井の邊の四氏、此の日は天候風、グラウンド・コンディションは乾燥ながら三日の早大對鐵團の試合のときよりも良好、スタンドは超滿員で遠く外野スコアー・ボールト附近迄人の波だ。早大は此の一戰に左腕投手の大下を投手として必勝を期しての陣容、これに對しCBは高橋をマウンドに立て田中を二壘に三好を三壘に配し更生の的川が左翼を守つて第一打者に配され、楠木三番、田中四番、黑田五番と云ふベンチ苦心の打撃の構成、試合は早大優勢の威力を發揮してよく好機をつかみ四回までに四對一とリードし優勢を示したがCBは大下の疲れをノックアウトし代つた主戰投手若原の球威未だ不整なるをよく打ち五回四點を入れて逆に一點をリードすることとなつて戰ひは白熱化し、兩軍の上位打者の猛打の應酬によつて目まぐるしい打撃戰が展開され、追いつ追はれつのシーソーゲームは九回表早大一點を入れるに及んで十對十の同點となり、その裏CBの攻撃空しく補回戰に入つたが十回早稻田は第一打者麿堂遊撃を衝いて一死となつたが佐武が〇—一後カーブをひつかけて右前に好打したチャンスは小島の遊撃安打によつて一死走者一二壘となり四番打者長野のカーブに合せた一擊はよく三遊間を衝つて佐武の生還するところとなりその裏CB八番高橋より始まる最後の攻撃は若原投手の鋭いアウトドロの速投に阻まれて三者凡退し十一對十のスコアーをもつて戰ひは早大軍が勝敗を決するところとなり午後四時九分激戰は終つた。

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	
早大(先)	1	2	0	1	0	0	3	2	1	1	11
CB	1	0	0	0	4	0	1	4	0	0	10

試合經過

◇第一回 早大—高須二飛佐武三前で一死後小島四球に出て一、二壘長野一—二の內角の曲球を快打すれば左翼頭上を拔く二壘打となり小島生還永澤左飛で長野殘つたが一點を先取△CB—的川の右前快打は不規則にバウンドして野手をオーバーし三壘打となり國友の三壘方テキサスヒットに的川生還楠木の投前バントは國友を二壘に封殺して一死田中四球を利して二走者の好機となり黑田三壘右に猛烈なゴロを放つたが佐武よく止めて三—二—一で田中黑田併殺さるしかし一點を返して同點

◇第二回 早大—麿堂遊撃內野安打に出て鵜飼投前バントすれば投手一壘走者を封殺せんとして二壘に惡投し球が中堅に轉々する間に走者二、三壘を占む大下三振で一死横山遊ゴロに二死となる間に麿堂生還高須三邪飛に死したが一點を加ふ△CB—寺田右飛山田遊飛高橋三振

◇第三回 早大—佐武中飛小島四球に出たが長野の左翼大飛球で二進せんとして壘前に刺され左—遊—二のダブルプレーとなる△CB—三好右飛的川左飛で二死後國友右中間に三壘打したが楠木二飛して空し

◇第四回 早大—永澤二—一後のドロップをよくミートして遊越安打に出て麿堂の投前に二進し鵜飼の右翼大飛球は右翼手誤捕して二壘打となり永澤生還大下三振横山投前で一點を加へ

◇第五回 早大—高須右飛で一死後佐武遊撃安打に出たが小島の遊ゴロに二壘封殺長野四球で二死一、二壘永澤中飛△CB—田中投前で一死黑田左飛で二死後寺田四球に出で山田の左前安打にまた高橋中前安打に寺田生還三好の左前安打に山田生還的川、國友の連打で二點を入れ四點を入れて逆に一點をリードす

◇第六回 早大—麿堂右飛鵜飼二ゴロ大下三振△CB—楠木遊ゴロ田中三ゴロ黑田三振

◇第七回 早大—横山に代る永田四球高須三壘を衝いた安打に出て佐武の左前安打に永田生還小島、長野の連打で高須佐武生還三點を入れて再びリードする△CB—寺田四球山田遊前で寺田二進高橋の右前安打に寺田生還一點を返して同點となる

◇第八回 早大—永澤中前安打麿堂の右前安打に永澤三進鵜飼の右犠飛に永澤生還若原の中前安打で麿堂生還二點△CB—三好四球的川右前安打國友の左中間二壘打で三好、的川生還楠木遊ゴロ田中の安打に國友生還黑田の右中間安打に田中生還四點を入れて再び同點

◇第九回 早大—永田左前安打に出て高須の犠打に二進佐武右飛小島の左前安打に永田生還一點を加ふ△CB—寺田右飛山田遊飛高橋三振

△第十回 早大—高須遊前で一死後佐武右前安打に出で小島の遊越安打で三壘に進み長野の三遊間安打で佐武生還、永澤中飛で二死となるとき小島三進、長野二進したが麿堂投前にて一點を得て終る△CB—高橋遊前小島

早大(先)	打	得	安	犧	盜	振	四	殘	失
6 高須	5	2	1	0	0	0	1	0	0
5 佐武	6	1	3	0	0	0	0	1	0
4 小島	4	2	3	0	1	0	2	2	0
7 長野	5	0	2	0	0	0	1	4	1
8 永澤	6	2	3	0	0	0	0	1	0
2 麿堂	6	1	1	0	0	0	0	1	0
3 鵜飼	4	1	1	1	0	0	0	1	1
1 大下	2	0	0	0	0	2	0	0	0
1 若原	2	1	1	1	0	0	0	0	0
9 横山	2	0	0	0	0	0	0	0	0
9 永田	2	1	0	0	0	0	1	0	0
計	44	11	15	2	1	2	5	10	2

CB	打	得	安	犧	盜	振	四	殘	失
7 的川	6	3	4	0	0	0	0	1	0
8 國友	4	2	4	0	0	0	1	1	0
3 楠木	5	0	1	0	0	0	0	1	0
5 田中	4	0	1	0	0	0	1	0	0
6 黑田	5	0	1	0	0	1	0	0	2
2 寺田	3	1	1	0	0	0	2	2	0
9 山田	5	1	0	0	0	0	0	0	0
1 高橋	5	1	2	0	0	0	0	1	1
4 三好	4	2	1	0	1	0	1	0	0
計	41	10	15	0	1	1	5	6	3

投して兩者生き麿堂の投手バントで一死走者二三壘となり若原一—二の後スクイズバントは投前に轉つたが三壘走者永澤のスタートよく生還、若原一壘に死し麿堂三進、永田二飛に終つ

【試合時間】二時間三十分

【三壘打】長野、鵜飼、的川、國友、楠木【二壘打】永澤、若原、高橋

【併殺】佐武—小島—鵜飼、高須—小島—鵜飼、的川—黑田—三好【捕逸】麿堂

一飛的川遊飛

早大對鐵團第二回戰

けふ午後一時半から圓山で

【ベンチ】一壘側鐵團、三壘側早大【審判員】球審飯島、壘審大澤、山口、井ノ邊

戰の跡

前日鐵團に完敗したりとは云へ早大とCBとの試合は全く豫想をゆるさなかつたが、いざ蓋をとつてみると最初は案外調子よく早大がリードしこのまゝ試合を運ぶのではないかと思はれた、然し大下投手の一寸した亂れがCBのつけ込むところとなり、華々しい打撃戰で兩軍とも得點を重ね後半戰は互角であつたがあえて早大の勝因を打者が皆その任を全うしたあたりにあつたと云へやう、强豪早大に對して堂々互角に戰つたCBの健闘は敗れて悔いなきものであつた

段々調子はよくなります

福田早大主將談

ベンチに指揮し、追ひ追ひCB軍の猛打を巧にかはしつつ、愛えの勝利を見るを得た早大軍主將福田君は喜びに顏をくづし乍ら

危いところでした、何分投手陣が手薄なのとフォームがまだ出來ていないのが痛手ですが、追ひ追ひよくなりますよ、明日、明後日とだん〳〵調子がでてく

スタンド雜觀

一九三五年最初のおてんと樣が出た、CB第一回戰の四日は觀衆も出たく、スタンドは鮨詰め眞黒、所々に挾まつてる赤いまくろ陣はピチピチモガにマダム、白いぬりとしたレーンコートの學生は肩越しに、外野は豊の兩手の樣にのびて、この總數四千五百、大龍峒の方へ走る道路の樹木にもビッシリ、ロハ見物組のカウモリみたいにぶらさがつてゐる。

◇

試合直前一壘側の早大應援團約百名「今日こそは勝つて呉れ」と云はんばかりに總員起立「都の西北」のエール、恰も正にグラウンドの西北に當つてゐる、これに從つたのか？果然試合は早大の健闘振りCBまたおのづから勢ひ立つて龍虎相搏つ、豫想以上の花々しいシーソーゲームとなつて、觀衆喜ぶこと、お神酒が何だかんだつてこれ以上の快い醉ひ方はない。

◇

四回表早大大下君バッターボックスに立つたはいいが、CB高橋君に綺麗にストライクアウトをゆかれて、ベンチに戻るまで頭をかき通し

「大した行かれ方だつたね」はファンの名言。

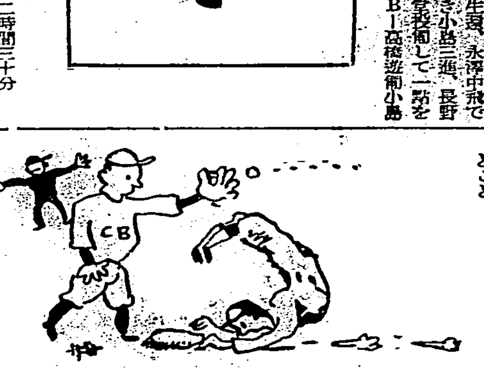
◇

このナンセンスと好一對なのが八回表早大若原君の攻撃の時、CB捕手寺田君、大切な所を行かれて大の字にぶつたほれる、

そこらに見た安んなかパットで足の先を叩くやら腰をさするやら一騒ぎ、三分後ヤット正氣に戻つたがスタンドはわれる樣な哄笑。

◇

補回に入つてやつと早稻田の勝ちテ「ケリ、觀衆笑つたり、屁をWらせたり、ふるへたり、CBれを切らしたり、戰ひそのものも賑かだつたが、スタンドの方も大した賑ひだつた。



エビ型盜壘

早大の高須六回の裏で盜壘やつたがCBの黑田君のためにタッチされてアウトしかしその盜壘振エビの樣にからだを曲げたのでみんな笑ふことこと

たづねるならば兩軍各十五本の安打のうちCBは一番二番の的川、國友のみで八本を占めてゐるに對し早大は佐武、小島、永澤と二、三、五の各打者が各三本四番長野

敗因は七回裏の失策

吉田CB主將談

ゐるでせう、CB側の高橋投手は良いコントロールを持つてゐますネ、大分惱まされました、それに打撃にムラがなく皆な當てくるので心配させられましたと語れば、傍らの猛打者小島君稍々强いですが一壘側といひ、CBといひ實際强いですよ、こつちも投手が完全に使へればもつと樂な試合が出來ると思ふんですが、なにしろフォーム・アップが濟んでいないのですから、從つて投手を樂にしてやらうと得點を狙ふために自然焦り氣味になつて了ふんです

と語りそへた

退壘に退壘を加へて執拗に喰下り惜しくも敗れたCB團主將吉田君は、未だ試合の昂奮醒めやらぬ態で言葉短かに語つた

强ひて敗因を求むれば七回表の遊擊失がキツカケに三點を奪はれたことでせうが…實に殘念です、一點リードで九回に入り乍ら敗れたんですから、諸君の功あつて打撃も相當なアタリですから、次回戰はなんとかして雪辱します

來賓席點景

早大ファンとCBファンと半分づつの來賓席、全くお賑やか、早大が勝つと長官夫人と井手氏夫人オホ〳〵と微笑片山氏手を組んで試合戰況を默然と見てゐる、福田總長、きのふ勝つたので氣をよくしてゐる、すぱり〳〵と煙草をふかして

五日の天候

【臺北測候所發表】樹子江一帶の高氣壓が張り出した爲、五日の天候は曇り後雨となつてゐるが夕方までは大丈夫だらうと云はれ、夕方から六日にかけ霧雨が降る程度であらうと豫測されてゐる

高雄關對早大野球戰

七日に變更さる

【高雄電話】早大對全高雄の野球試合は五日市內東球場にて開催の豫定であつたが臺北にかける試合の都合上七日午後二時開催の事に變更された

嘉農捷つ

全島選拔野球戰

【嘉義電話】全島中等學校選拔野球決勝戰嘉農對南一中對嘉農戰は球審木曜、壘審村上、大塩、高塚四氏審判、南中先攻にて一時四十八分、開始試合時間二時間で終了したが前日北商を屠つて一躍球界に名を爲した長岡投手も老練な嘉農の健棒を封ずる能はず、加ふるに南中軍の緊張振りとなり四回に六點五回に五點と嘉農大勝、全島選抜の榮冠を許した、試合終了後川添會長は左の通り賞品を授與し高歡を三唱して大會の幕を閉ぢた

嘉義市長賞、臺中州知事賞、嘉義野球部優勝旗、臺中スポーツ後援會優勝旗、體協本部優勝賞以上は嘉農へ

同じく體協本部準優勝賞、臺南新報社賞、嘉義新聞社賞參加賞(嘉義支部)

打擊賞、嘉農五名、小出百行三名

13A—1

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	
南一中(先)	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
嘉農	1	0	0	6	5	0	0	1	A	13

打數率

今久留主(嘉農)六割六分

吳波(嘉農)五割

高木(嘉農)三割三分

佐藤(南一中)三割三分

古川(嘉農)二割

臺北高商快勝

【大阪四日發本社特電】全國高等

關大勝つ

【大阪三日發本社特電】甲子園にて擧行の關大對慶應野球戰は7—5にて關大勝つ

ラグビー戰 同志社大勝

【大阪三日發本社特電】三日花園にて擧行された全國高專ラグビー

火災 海運 傳信 用害 途上 自動車 盜難 硝子 森林 保險 東京火災

北一中大勝

【大阪三日發本社特電】全國中等學校ラグビー大會第二日目第二次戰—臺北一中對松島中學の試合は三日午前十一時から南甲子園競技場で擧行されたが28—0で臺北一中大勝した其の他の戰跡左の如し

天理中 6—0 福岡中

京城師 8—0 京都二中

秋山中 13—0 札幌師

右の結果五日の準決勝戰は臺北一中對天理中學、京城師範對秋山中學と決定した

臺門ラグビー大會第二日臺北高商對山口高商戰は四日午前十時より花園にて上吉阿部氏の下に山口の先蹴にて開始

臺北高商18 (13—0 5—0) 0山口高商

にて臺北高商快勝した、尙六日の決勝戰は同志社豫科對早稻田高門對臺北高商對南滿工專と決定した

早大對CB戰（寫眞說明）

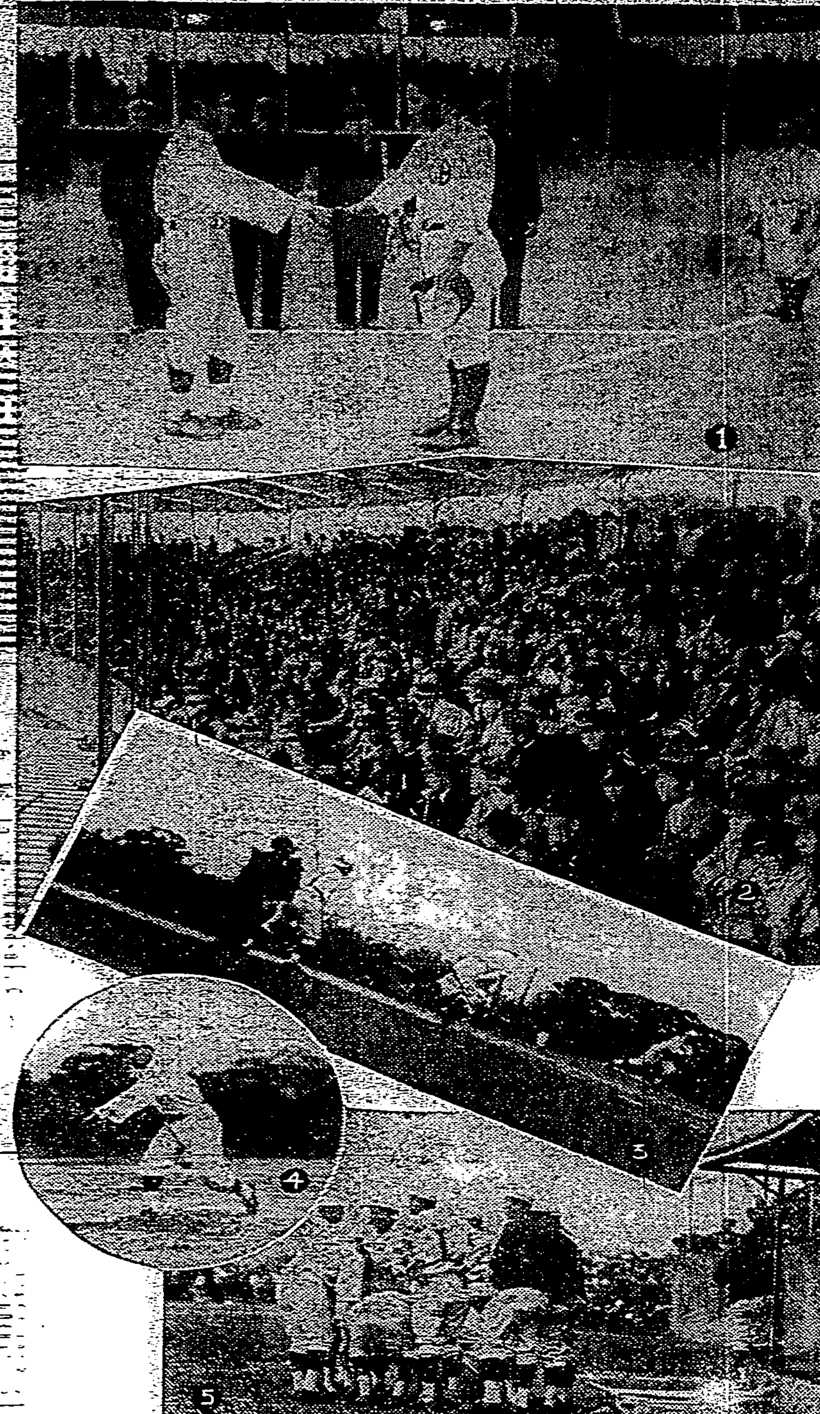
1 兩軍主將交驩の握手

2 第二日も觀衆スタンドに溢る

3 兩軍の接戰(第五回表打者CBの田中君)

4 早大の投手大下君

5 崩れそうやく白熱化し旦大量大いに作戰を練る



國葬の禮を以て盛大に擧行さる

故安達博士の葬儀

【ヘーグ三日發電通】前臣二十八日アムステルダム病院に於いて客死したヘーグ國際司法裁判所判事故安達峰一郎博士の葬儀は故人生前の功績に依りオランダ政府は國葬の禮をもつて遇し三日正午アルダンテ墓所で和蘭に於いて莊嚴且つ嚴肅に擧行された先づ未亡人の發言に次でオランダ女王陛下御名代の参列あり、國際聯盟の各國代表、オランダ官憲…參列して故人への最後の名譽を

人の安勞に當る武官總長の外佐藤大使もはるばるロンドン、パリから參列した、司部に於てはオランダ外相グラーフ氏びして國際仲裁裁判所判事の同僚と千九百二十九年以來故人の同僚とるイギリスのサー・セシル・ハーストら三の司事あり式場には約二千名のオランダ歩兵及び騎兵が整列して故人への最後の名譽を表

安達博士の遺骸

【ヘーグ三十日發電通】故安達博士の遺骸は一旦暫時安置されたサンタ・ダル、ニエルト火葬場に於いて火葬に附せられたがこれはオランダ國法では火葬は表面上許されぬので一旦オランダ政府の默許に基き一旦遺骸を安置して後遺族の希望に依り火葬に附された譯である

屏東の情死

夫婦になれぬを悲觀してか

【屏東電話】未だ松飾りも取れぬ四日の眞夜中屏東市の料亭赤木館でうら若い男女の情死があつた男は屏東市內外食品賣買の出張員事務員村下小一郎(二)女は赤木館の抱へ藝妓君丸事西澤ハル(二)と云ひ四日午前二時過ぎ突然女の部屋から異樣なウメキ聲が聞えるので樓主が馳けつけて見ると二人共刃物で用意したカルモチン三錠入り大瓶を嚥下して苦悶の最中なので直ちに台山公醫を迎へて應急手當を加へた上屏東醫院に擔ぎ込んだが兩名共相當多量に嚥下した二人は昨年秋頃からの馴染で村下は二日晩に登樓して翌三日朝には機嫌よく女と連れて四重溪溫泉に赴き同夜十時頃歸つて寢についたものであるが男の家庭の事情で二人共に添ひ遂げられぬ爲めの情死と見られてゐるが遺書もなく原因は判明しないが男の家庭の事情で夫婦になれぬのを悲觀したものと云はれてゐる

馬公の野球戰

【馬公三日發電】體協支部主催の新年記念野球大會は二日午前九時から大藏副長の始球式によつて開始し優勝旗爭奪戰の試合は同好大勝戰の試合は同好大勝

同志社大 18—14 早稻田 高雄戰

戰は左のスコアーにて同志社大勝つ

の試合は八對零で臺人組が勝ち勝者は第十一對五の大スコアーで臺灣軍工作部の試合は七回表で一點を爭つたが工作部の攻撃で七點を獲得して土官室後の試合は七時から日午後一時から觀衆で頗る賑ひを呈しに引續き閉會の辭

首飾を强奪さる

新竹署は非常召集して犯人を搜査

正月早々新竹市に强盜事件があつた新竹市西門町頭番地不詳何氏清月(二〇)は二日午後五時半頃買物に出て歸宅の途中新竹市北門外の雜貨商基氏宅前迄來かかつた時突如一怪漢が現はれ清月に向つてお前の金と俺のと簡單なつてるゐ交換して呉れと云つて清月が傘を取替へやうとした隙清月の鍍金製首飾り一本十錢、價格百圓を强奪逃走した新竹署で捜査した新竹署では工藤司法主任以下刑事總出動で捜査を行ひ署內非常召集をなして引續き捜査を續けてゐるが三日夜に至るも未だ犯人は逮捕されない

濁刀を振つて重傷を負はす

下さつた年賀状です、それを一日も早く東北の寒さと戰ふ同胞に送つて下さい

【臺中電話】臺中州大甲郡大肚庄字新庄頭一五九張來(三)は三日午前一時頃何同陳阿(二)方に押入り濁刀を携へて押込み陳を押倒して左腕部に一寸長さ八分深さ二寸等三ヶ月を要する重傷を負はして自宅に逃伏中を大肚派出所員に逮捕され大甲郡警察課に送られたが陳とは約五年前より陳の姿と情交關係あり一旦は中に入る人あつて關係を絕つてみたが最近再び關係を結ぶようになり、これを陳が知り妾に其の非をなじつたのでこれを恨んでの兇行であると

感心な兵隊さん

臺灣步兵第一聯隊の一兵卒が隊から貰ふ手當を貯へ金一封を本社長へ送り越し些少ながら之を東北の饑饉に惱む人の許へ贈りたいとて手紙と共に送り届けて來た篤志の兵隊さんがある、其の手紙の一節に曰く

客月十二月十六日の記事に此世ながらの餓鬼地獄東北の凶作を訪ねてを讀みまして私の心を打ちました、之は少額ですが私に

賭博の勝負から大喧嘩

【臺南電話】三日午後五時頃臺南市本町七の一六張著長(二)方に於て附近の本島人男數名が賭博中勝負のことから大喧嘩となり張は居間より蕃刀を持ち出して附近の同町七ノ一六陳明(三)に斬付けて左額に突立て瀕死の重傷を負はせ逃走したが間もなく巡査に追ひつけた臺南署刑事係の爲め逮捕された

蔗園から金庫

犯人は不明

【屏東電話】比南鳳鼻頭庄屏東郡土庫庄地所有の甘蔗園で作業中の傭人が思ひがけなく一箇の手提金庫を發見し、直ちにこれを高地派出所に届け出たが傭人から前記の話を聽いた際ばまさか自分の金庫であるまいと念の爲め搜して見た所果して現金一百餘圓と商品四十五圓在中の所甘蔗園近くに入つた手提金庫が知らぬ間に家から消えてしまつたのであくなつた、其は屆け出し事へ贈られたが聞く所による

なく自分の金庫であつたのを全部持ち逃げしてしまつてゐる、この犯人事件に就いた三百盜難現場には既に盜難にあつて届け出る事に現在犯人の搜査に全力を出で已に手配犯人を搜査中で目下大掛りに犯人の行方をまだ付かず引續き搜査中である

賭博犯檢擧

【嘉義電話】嘉義郡新港庄新港山新港四ノ一六丘阿三(三)同所黃大頭(三)東石郡六腳庄新港四ノ一六陳文頭(三)の四名は去る三日午後十時頃同家で四色牌賭博中を所轄高岡派出所員に檢擧され四日木崎司法主任より各科料十五圓の處分を受けた

嘉義武道始め

【嘉義電話】嘉義郡武徳會の武道始め式は四日午前九時半より嘉義武徳殿で秘口郡守臨席の下に嚴粛に擧行、劍道型、柔道型の演武に引續き紅白試合を行つたが參加者は劍道八十名、柔道三十八名、弓道十八名、三民道三十名の多數に上つた

拾遺便り

【新竹電話】新元大家三十二氏が正月の生花に(個人俱樂部新年會の元日祝)は既にもう生けられるので非常に喜ばれてゐる

橋上で自動車の追突

【基隆電話】自動車初衝突一四日午前十時十分基隆市田寮町一九ヤマトハイヤー所有七三號自動車を運轉手鷲野五郎(二)が乘客三名を乘せて基隆市田寮町方面に向ふべく高砂町旭橋に差し掛つた際十字路たる基隆醫院側より臺北市永樂町四ノ七三黃天海所有第二三九號トラックを運轉手黃貫英が運轉して橋を渡るべく疾走して來つたのに氣付きストップする間もなく橋上に斜に避けた所トラックはこれを追ひ挾んで追突しハイヤーは右側擬木を二間半程打毀し危ふく河中に墮落の厄を免れてストップしたが前後部車輛を大破トラックも全部車輛を小破した幸ひ死傷なし雙方運轉手の不注意によるものとして目下基隆署で取調中

臺南のボヤ

【臺南電話】四日午前二時五十分臺南市□町一の三黃□□方より出火した折しも今日は雨れの出初式と用意萬端整ひ手ぐすね引いて待つてゐた消防組ではスワと許り第一二三消防ポンプ出動したが

第七回英語講習會 會期 自昭和十年一月九日至四月十日 毎週月・水・金曜日午後七時至九時 講師 臺北高等商業學校教授 … 會場 臺灣總督府內 入會資格 … 入會申込期日 昭和十年一月八日迄 南洋協會臺灣支部

◎御厚禮！大入超滿員◎ 歡聲を浴びて更に二の替り本日より 大谷日出夫・毛利峰子・月形龍之介・小金井勝・森静子・牧英勝 演 仇討妻戀坂 中野かほる・河津清三郎・山縣直代 主演 紅頰褪する時 芳乃館

春のエッセンス 5日 9日 見てゐると胸の底からすうつとします 天保忠臣藏 藝者三代記 この映畫は御婦人に捧げます フラウンの爆裂 珍艦隊 新世界館

林長二郎・坂東橘之助・光川京子 奴かゞみ 會社員閣下 第二世界館

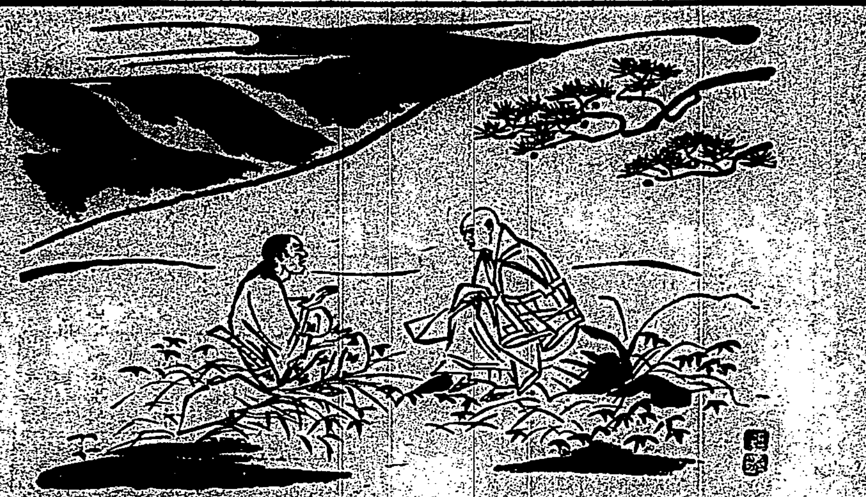
親鸞聖人 (88)

吉川英治作 山村耕花畫

登岳篇

大衆(九)

「いや孤雲どの」
「どうしたのぢや、七郎どの――」
「まあ、聞いて下さい」
庄司七郎の孤雲は、岩に腰をおろした。性善坊も、草むらへ坐つた。
悄然として、孤雲は、野の月をながめてゐた。何か、回顧してゐるやうに。
やがて、そつと瞼をふいて、
「――もう、何年前になるか、あの六條様のお館へ、間者に入つて捕まつた年からの事です」
「うむ……」
「主人の成田兵衛から、不首尾のかどで、暇を出されたので、家にある老母や妻子にはすぐ飢が見舞ひます。そのうちに、京の大火の晩に、足弱な老母は、煙にまかれて死ぬし、妻は病氣になる、子は流行病にかかるといふ始末。とやかうと、悪いことつづきのうちに、この身一人、生きながらへて他の家族どもは、皆、あの世の者となつてしまひ申した」
「それは、御不運な……」
性善坊は、慰めようのない氣がした。あの平家の郎黨としての兵、ぶりは、今の孤雲の影のどこにも見あたらない。
「一時は死なうかと思ひましたが、戰ならば、死ねもするが、武家の緣をたへた人間が、飢や、不運に負けて、路傍で死ぬのも、残念でなりません。――そのうちに、不幸は、私のみでなく、舊の主人、成田兵衛さまも、宇治川の戰で、何かまづい事があつてから御一門のお覺えもよからず、又、御子息の壽童丸様は、父の、源氏討伐の軍に、元服して、初陣したはいいが、人にそそのかされたか臆病風にふかれたか、陣の中から脱走して、お行方知れずになつておしまひなされた」
「おお、あの、日野殿でも、範宴さまと御一緒に、机をならべてゐた若殿でござつたな」
「さうです。……昔に、父の兵衛様は、人に顔向けができないと云つて、門を閉ぢてをられましたが近頃、洩れ聞くところによると、宗盛公から、死を賜はつて、自害されたといふ話……」
「ああ、悲惨。――誰に會つても、そんな話ばかりが多い」
「ふり顧つてみると、十歳ぐらゐのお年まで、お傅役として、壽童丸様のおそばに仕へてゐたこの私にも大きな責任がございます……自體、お育ていつぱいに、お育てしたのが悪かつたのです。ひとり、壽童丸さまばかりでなく、平家の公達のうちには、戰を怖がつて、出陣の途中から、逃げてしまふやうな柔弱者が、かなり多いのではございますが、まつたく、私のお傅の致し方にも、多大の過ちがありました」
「しかし、其許ばかりの罪ではない。御兩親の罪――また平家自身の作つた世間の罪――。何ごとも時勢ですから」
「でも、何うかして、いちど、故主の霊をなぐさめる爲に、壽童丸さまの行方をさがして、御意見も申し、又、微力をつくして、一人前の人間におさせ申さなければ、済まないと思ふのです」
「よう云はれた。暇を出された故主のために、そこまで、義をわすれぬお心がけは、見あげたものだ――して、範宴さまを、訪ねてきた御用は――」
「人のうはさによると、戰さらひの公達は、よく、三井や、叡山や根來などの、學僧のあひだに、姿をかへて匿れこむ由です。御僕にすがつて、中堂の堂主から、もしや壽童さまに似た者が、山に籠つてゐるか、ゐないか、お調べねがひたいと思つて、やつて參つたのでございます」
話し終つて、孤雲は、首を垂れた。足もつかれてゐるらしい。胃も弱つてゐるらしかつた。



豫算增加八百數十萬圓 臺灣博開設不須憂 米穀及鳳梨問題各進行中

總督府岡田。中瀬兩局長。搭去三日午前十一時四十分入港大和丸歸臺。所談如左。

▲岡田局長 臺灣豫算。本年度總額一億一千九百萬圓。其中屬於新規事業者。達二千八十萬圓。主要爲基隆港擴張費。北基間縱貫道路鋪裝費。油田調查費。下淡水溪橋架設費。安平港改良費。飛行場設置費。初等教育充實費。大學醫學部新設費。鐵道改良費。由總額觀之。較前年度增加八百數十萬圓。臺灣博覽會。於關于議會解散。然縱若解散。有更提案于臨時議會方法。且政府。政黨。解散回避空氣濃厚。結局自不要杞憂云。

▲中瀬局長 米穀問題。其後在小委員會審議。十一日再開一次。作就成案。十五日特別委員會。十八日總會。各爲附議。二十日更開米穀生產費調查會。是故十一日安藤技師。十五日自己。擬再上京。又須田君亦欲爲幹事參加。米問題殊形複雜。使其價格。無內外之別。五日本全體。調節米之需給關係。實屬可喜。因是以統制組合。將來之需給生產。按分內外。使不於市場放散。或以最低米價對付。應屬必要。又鳳梨合同。因昨秋之縣議會。已舉土地評價。工場評價。於希望合同參加之下。以對三菱其他斯業者。結局自非無理。第一階段進行農場調查。此次上京。擬表示參加意思。欲進行合同事務云。

兩神社元始祭

臺灣神社。去三日午前八時。舉元始祭。中川總督。寺內軍司令官。暫文官總代平塚總務長官。武官總代松木電力社長等。奉拜玉串。至八時四十五分閉式。府內外各局長。及臺大總長。高等法院長。檢察官長。知事。其他重要官民。多數參拜。又建功神社。亦同日舉祭云。

各地消防擧式

▲文山郡消防初出式。依例去四日午前七時舉行。新店及景尾兩莊丁團合同於郡役所外新店溪岸。就假案茅屋引火。兩團各員技藝勇爭先。汲水消防。一同整隊回郡衙頒賞火。一同寮課員。亦齊集於廣庭

來賓亦臨席。吉田郡守。宗像警察課長。各有訓示辭畢。備酒慰勞。午前十時許散會云。

▲新竹消防組員。四日午前六時起。于州廳廣場。舉出初式。鳴鐘四分間。組員全部出動。舉行次第開式辭。國旗揭揚。宮城遙拜。令旨奉讀。署長狀況報告。木原警務部長。人員服裝。並器具檢點。而後訓示。來賓祝辭。酒肴料授與。組長答辭。組員分列式。喞筒操法。乘梯。消防演習。大日本消防歌合唱。國旗降下閉式云。

本社各取次店 抽籤發表

▲板橋 本社取次店。對本報愛讀者百八十餘名。有去二日午前十時抽籤。有郡直轄道岡警官立會。至午後三時。全部告畢。其當籤者。一等西江清氏。二等林長存氏。二等林進財氏。三等阿部子太郎。三等黃木土。三等林金諸氏。四等略之。

▲新莊 取次店。去二日午前十時。抽籤。有郡直轄警官四人立會。至午後三時。全部告畢。其當籤者一等陳坤銘。二等郭金盛。二等林慈九享源商店。王江波諸氏。四等略之。

▲羅東 取次店。去二日午前十時抽籤。午後三時告終。其當籤者。一等鄭金旺。二等岡野正己。三等大森節子。及盧牛傳諸氏。

▲桃園 取次店。二日午前十時。午後三時。在事務所。對購讀者抽籤。有關係官民立會。抽籤者擁到。一等至五等。皆無空籤。抽籤結果。一等黃勝興氏。二等合秋波氏。二等林漢强氏。三等埔心派出所。其餘四五等略之云。

▲斗六 取次店。去二日午前十時。於隆州堂內。抽籤。愛讀者。早自午前九時。接踵而至。定刻開始。午後三時告終。其當籤一等陳林氏寶。二等莉桐庄役場。二等陳捷明。四等蔡寶顏。新庄子保甲廣田市郎。李思恭諸氏。

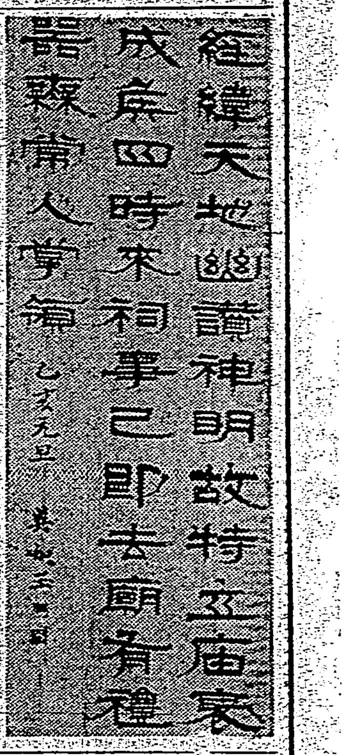
歲朝清供 嘉義市西門町 朱芾亭氏畫

截途強奪 犯人尚杳然

新竹市樹林頭人陳氏清月年二十。去二日午後五時半。購買物品歸途。至市北門鄭肇基氏宅前。忽有一怪漢向前。强奪其金錶一條。約一兩(價値二百餘圓)逃走。新竹署接此急報。工藤司法主任以下刑事。全部出動。今夜四時非常召集。至三日。犯人杳然。目下張非常網。各處出動云。

深坑黃家內祝 施米恤貧

文山郡深坑庄深坑黃家林太淑人古稀內祝一節。既如所報。先是令嗣黃德隆氏。發白米台斗六十石。卽一恤貧窮者百五十名。人平均二斗。其中深坑庄百十六人。石碇庄三十四人。又對文山郡愛國婦人分會。寄附事業資金二百圓云。



臺北市 吳如玉氏書

鐵道自殺

臺中市旱港二百八十四番地前鐵道線路上。去三日午後二時三十分。發見有軍服姿之轢死體。頭蓋骨粉碎。由臺中驛員報出。由臺中分遣隊員。急往調查判明爲臺中分屯大隊第十二中隊山形數男。年二十三。受軍醫檢視後。死體由同隊引受。察其不帶劍。料想同夜點呼後。由營內脫出。俟午後九時五十分。豊原發員林行機動車。向臺中驛進行之時。投身自殺。就其死因。嚴付秘密云。

政府政友對立 難免正面衝突 議會解散材料極多

東京四日電。政府對政友會對立。以臨時議會爆彈動議爲動機。其正面衝突不可避。政界一般。早料解散。頗呈緊張。對此政府態度。岡田首相對政友會。全持强硬態度。如政友會徒欲肉迫政府。則斷乎欲淨化政界。斷行解散。視政友會態度如何。難免解散又閣內町田、松田二民政黨出身閣僚。固贊成解散。高橋藏相及後藤內相等官僚派亦執强硬論。惟床次、山崎、內田等床次一派。依然自重。雖未必回避解散。然欲藉政友會山本條太郎。前田米藏。望月圭介氏等。有政友系之力。佐

國策審議會農村救濟對策徹底等。諜無事通過。作和戰兩樣打算。今後推移深甚注意。頗惹注目。卽床次遞相等。於臨時議會終了同時。爲備解散。沒必至緊張也。

國際非常時第一年 休會再開後之議會 政局波瀾萬丈

東京三日電。昭和九年內外重大時局宣歷。政黨苦悶。昭和十年已入于九百三十五年。國際的非常時代第一年。政界緊張。前途豫想複雜深刻。休會後議會。政府對政友會關係不妙。波瀾萬丈。此間關係多頭於選擧對策。相當準備已了。然新黨樹立運動。尙由政友部內事情見之。尙難進行。局面打開。當照然一至議會。則有帝大事件。小原法相。或至窮地。其他國策審議會問題等。解散材料頗豊富。事勢甚難逆睹。時日推移。政界必至緊張也。重大問題。不知政府將如何處理。既成政黨。爲局面打開。以起死回生。事於我國運消長有重大關係。轉換的過渡期之我政治形態推移。極有影響。然實最大關心也。

政始御儀 四日不擧行

東京四日電。四日政始御儀。因聖上陛下御靜養。遂不擧行。岡田首相。四日午前十一時參內。會見鈴木侍從長。請執奏神宮諸祭典終了之事。又湯淺宮相。亦請侍從長執奏宮中諸祭典擧畢之事云。

北鐵讓與 第五次會談

東京四日電。北鐵讓與細目條件所關東鄕加老土第五次會談。三日午後六時開於外務省。討議六時間四十分。四日午前零時四十分散會。同日會見結果。一、支拂保證問題。蘇俄一讓。從來求日本銀行保證。右主張撤回。日本政府。與滿洲國協定。完全履行之事。以文書保證之。廣田外相仲介案。爲之受諾。決定條約原文。二、物資價格裁定問題。蘇俄大體承諾日本案。最終決定意見。與於第三國人。此主張撤回。但該物資交付契約履行之事。蘇俄宜將紛爭最後的裁定權。附與第三國人。希望插入此條項。日本拒絕之。一、退職賜金支拂問題。完了退職以一箇年半。賜金支拂之從來主張。爲之緩和。從日本案。妥協爲二年。但退給年賦拂金之計算方法。意見尙未一致。似此支拂保證問題。日俄間意見完全一致。條約原文起草終了。其他問題。兩者主張接近。蘇俄已請訓莫斯科政府。四、五日中。更行會談。次回會談。兩者意見殆能一致。近一年半北鐵讓與交涉。將至大團圓。

板橋街 林雪洲氏畫

早大對鐵團 CB 三四兩日初比賽 觀衆無數擁到圓山球場

本社主催之早大對鐵團野球初比賽。因元旦降雨。延于去三日。在圓山球場舉行。是日天陰風靜。午前十時開場。同時野球愛好者。早已擁到。坐席無立錐地。而來賓席。則有中川總督。平塚長官。小濱局長荒木。三卷。辻本諸氏等。早告滿員。正午滿場拍掌聲中。早大軍。福田主將先入場。其次鐵團。亦由渡邊監督。先入場。開始練習。先攻之早大。及守備之鐵團。既各就位。斯時塚原飛行士操縱之義勇號飛行機。由球場上空飛來。機首降下。舉高度二十米之低空飛行由將乘之大會委員。投純白之處女球。墜落于投手板附近。由是平塚總務長官與河村本社長。舉始球式。午後一時四十二分。由壘審大澤。山口。井邊三氏立會。移入早大。鐵團兩軍之比賽。至午後三時四十七分完了。竟以八對四。歸鐵團勝云。又早大對CB之初比賽。續于昨四日。在圓山球場舉行。審判員球審飯島。壘審大澤。山本。井邊三氏云。

賭徒十五名 一網打盡

大甲郡沙鹿庄沙鹿字十抵人陳英外十四名。日前在沙鹿昭和製糖所宿舍聚賭。正在興高采烈之際。適該地警所。坂本部長。江村力武。周二巡查。出爲監督冬防警戒。從該宿舍前過。聞及賭聲鼎沸。隨向前檢擧。一網打盡。拘送去郡警察課。翌朝始放之歸。聞均欲罰金云。

在市內朝日町四丁目一二莊氏。去年二十三所有之木造二階因客廳三十日午前八時半。突由階上學生在中之第一室天井火。原因爲同樓第三室之房上發火。家人發覺報消防署。中學生張振忠年十九。與家主反感。欲爲家主多損電燈料金。乘該第二室之生住不在時。卽以百目之電球換點。使電之米究計畫發行之較遲。使家主受無形之損。以雪其恨。然是事恐光影照出。被家主發見。卽用黑布包捲電球。然黑布之包電球者。使三十分間。定要發火。署當局依其說。逆行實驗始得判明。中學生張振忠。以過失罪訊辦中云。

臺北市末廣町 喜多收一郎氏畫

大溪

名刺交禮

大溪郡大溪街。新年名刺交禮會。元旦日午前十時。開於大溪公會堂。官民二百餘名。一同著席。起立合唱國歌。乃由吉田街長。發迎春辭。以是宴開。綠酒紅柑。滿堂新春氣象。終由鹿田郡守。舉杯三呼帝國萬歲。衆唱和之。至十時半。一堂喜氣靄々而散。

新春吟會

大溪街蘋津吟社。本期值東旨。傳李訓森南氏。去二日午後一時於怡園。開新春擊鉢吟會。題拈紅梅。七絕支韻。得詩七十餘首。後由値東分與贈品。旋入吟宴。至鐘鳴八下。各盡歡而散。

嘉義

官民賀正

嘉義市元旦。自早朝官衙店舖。多揭國旗表祝。八時各官衙學校。一齊舉式祝賀。十時市役所發起。官民千二百餘名合同在公會堂開祝賀會。席定江口助役開會辭。川添市尹朗讀祝文。大閑宴。席間眞木勝太氏舉杯。三唱天皇皇后兩陛下萬歲。會衆和之。十時半散會。

太惡作劇

新報高農中學生。別租宿舍。

屏東市榮町 貴田成峰氏畫

澎湖

元旦佳節

澎湖本廳。元旦佳辰。風和日朗。人氣暢舉。七句鐘頃。各街庄旭旗高揭。各官衙及商店。妝飾雅麗。竹松掛日。兒童及男女生徒。太爲喜氣洋洋。八下鐘官紳中有各格者。俱嫻佩肩章。盛服宥劵。參拜御眞影畢卽往來恭賀年禧。海陸各將校尤加一層緊張率祝歲旦。馬公小公學校生。由各教員引率。對御眞影拜列參拜告竣。順到神社及各名勝云。

菜廟興起

廳下於數年前。馬公城內外。如天后宮。觀音亭。城隍廟。換次由當信者。捐出鉅金改築金碧輝煌。各爭佳勝。繼而沙港隘門港底三鄕。及馬公水仙宮。東町上帝廟。亦先後電修有以柱石雕刻勝者。有以鐘鼓樓高宏勝者。更有港底子龍廟得徐世昌等題超兩人手筆。眞作俱佳勝者。至沙港廟則以本鄕人士顯文。及陳希亭氏之八分。及楷家行各體之結構勝耳。及近後寮大道公宮。亦擬動支赤崁太子廟。亦擬起改築。費金五萬圓。應用石料。宏大無比。已於去臘杪。行落成式云

祝賀盛況

馬公埔仔尾基督教會堂。去臘由王傳道師司式。行耶蘇聖誕祝賀會。順序進行。內有男女生。及幼稚科諸男女生徒。唱頌等計分三部。步驟井然。首尾調協。陳氏婦勸所演尤能妙肖。全球演約歸一時得會長醫學士說明。當夜來會者。約五百餘人堂門擁塞云。

會事

▲臺北運送店員會。去三日午後七時半。新年懇親宴開於江山樓。會員八十餘名出席。既開會。奏樂醫中琪國歌。對會員致敬禮。合唱會歌。會長紀金城氏致辭。就席交館。九時散會。

▲臺北市西區新年宴。定來七日午後六時。開於龍山寺內。

▲羅東街役場。訂來七日午後一時。在羅東公會堂。開婦人交禮會。抽籤及上映影片數卷云。

▲宜蘭街婦人會。主催婦人新年交禮會。訂來六日午前十時假宜蘭街公會堂云。

人事

▲莊仁闕。臺灣西西氏來北。寓于永樂町市場美術館舖荷生處云。

▲新竹州警壁寓長。四日午後來北。宿于永樂町自宅。

▲臺北臺灣總會員蔡西氏來北手民。彰化佐藤市尹。李崇禮諸氏發起。四日午後四時。在公會堂。開送別會。出席二百餘名。五日傍午。擧各乘彰化列車赴任云。

▲南投郡新任草屯庄長。溫洪氏五日正午。在草屯公學校講堂。擧行就職披露宴云。

詩壇

池邊鶴 汐止 王慶滄

雙池外繞鶴蹌々。瀟々姿和振遐方。旭日光帝公正表。淸波影藻聰明揚。丹頂靜養精神健。玉砌昂藏資祚長。顧涉雄々沾澤澤。盤旋動翅展宏昌。

○ 友鶴 郭茂松

逐田歸來帶夕陽。翩躚倦翩下銀塘。食爭豈屑同雞鶩。身託偏欣近鳳凰。蘸水縞衣鄉綽約。守梅丹頂獨軒昂。淸波對影梳翎罷。擬露聲高達九蒼。

○ 西螺 廖應谷

太液池邊一轉旋。立稍霜羽自翩躚。蓬萊浪淺眠三島。碧海雲輕舞九天。飲啄雅尋安樂土。昂藏偏愛太平年。知他靜立看流水。盛世而今不羨仙。

○ 花蓮港 許柱珠

久侍逋仙作寵兒。偷閒池畔立多時。既豐羽兒詩丹頂。復弄波光印素姿。嘹唳一聲鳴盛世。翩躚百態樂皇基。常羞白鷺無仙骨。獨自徘徊顧步遲。自脫雞群志培舒。故從池畔弄朝暉。霜翎刷去閑雲斷。朱頂昂來百鳥卑。整態旣爭臨水鏡。朝東想是拜丹墀。仙禽也解皇恩大。草木皆春自不疑。

○ 龍潭 魏維水

不守寒梅庾嶺巔。逍遙自在樂無邊。刷翎鳳翩朝陽裡。展翅鵬搏太液前。嘹唳聲傳千里地。昂頭色燦九重天。朝衣白髮楓宸染。聖壽無疆慶萬年。

○ 宜蘭 張延安

翩翩鶴立一泓池。粱稻恩深豈患飢。影弄淸流魚蓋躍。翎梳小岸雪凝姿。醒回春草魂隨蝶。宿傍蓮花壽配龜。聖永遊遙欣自得。憂然長和鳳鳴岐。

○ 羅東 林劍稜

不向靑田傍峯松。請流岸畔立從容。鳴欣愚露和隨鳳。舞愛東風等躍龍。齊配乾坤堪立老。羽如霜雪獨舞鍾。街思不去春猶到。太液塘涓久託蹤。

○ 文山 張滄洲

高潔羣風許共盟。弄春飛舞羽衣輕。瑤池日麗神偏爽。太液波澄影倍淸。竹屋一間千歲鶴。雲霄萬里寸心榮。年々御苑棲遊遍。長浴恩波沾氣呈。

(乙亥新年) 文山 張滄洲

光陰念如箭。倏過卅星霜。業愧未分進。才慚無寸長。迎春斟柏酒。祝歲獻椒觴。一事眞堪慰。萱堂體尙康。

○ 花蓮港 許柱珠

司年知有責。聞鼓試新屠。驚覺東風起。齊翻旭旆明。達春花解語。賀世鳥呼名。隔歲新人氣。家々醉太平。

○

村居無賀客。早起滿東隣。我獨思鄕切。人家樂歲新。閒來忙治酒。老去又逢春。逆旅知音少。鄕親款作賓。

小說 櫻花夢(下卷)

第二回 慕周兵法 森竅

井嘉周因留學日本。其軍隊之編制。略仿日本成法。分小隊中隊大隊聯隊。四小隊爲中隊。四中隊爲大隊。三大隊爲聯隊。以步騎兵野戰砲兵二個聯隊。爲一個旅團。又步兵二個旅團。與騎兵一個聯隊。野戰砲兵一個聯隊。工兵一個大隊。輜重兵一個大隊。爲一個師團。又有交通兵旅團。有航空隊。有軍樂隊。其兵官仍爲小尉中尉大尉。少佐中佐大佐。少將中將大將。少中尉爲小隊長。大尉爲中隊長。少佐爲大隊長。中大佐爲聯隊長。少將爲旅團長。中將爲師團長。師團任地方衛戍。與各縣團練局長以地方紳士充之。統轄綠林。將兵分屯龍溪韶安海澄漳浦南靖長泰和七縣。與各縣團練局協辨。盤據銅鉢山。石鼓山。赴鳳山盤龍山。韶安之界。盤據大帽山南澳山。漳潮之界。盤據將軍山大武山梁山。南勝之界。盤據三團溪。長泰之界。盤據象牙峰。羅侯山。盤牛山。平和之界。盤據東岸山。海澄較寬。各距依山築寨。其未皆爲關。其戰亦野戰。當局部下附合。經選成訓練。步伐止齊。又有對外舉來新軍械。子彈速發。迅速及遠。以飛機偵察。以軍砲猛擊。故其兵所到。敵軍望風披靡。有據山易營屯寨者。其劉孫未到者。其軍令森嚴。市鎭村落攻破。不許兵搶掠。非軍務不得已。無論公私房屋。概不肆行毀壞。無人抵禦之處。斷不開砲轟擊。居民無恙誠恐。禦兵抵禦不論。不論兵民。不論傷病。皆爲無罪治療。故人民悅服。其攻取堡寨。用歐洲遵拜堂戰法。先派遊兵。屯堡前二百步相距處。列游兵陣線。令守堡寨之兵出戰。乃移別隊襲攻其旁。不爲明言。但命速集路某處。又其指示各縣團防。皆命統以知兵鄕紳。以專責成。又各穿號衣。訂明某縣某鄕。以資區別。所用軍械。新舊分編。曰新槍隊。曰舊槍隊。新舊一排。舊槍一排。間隔列陣。或爲正斜。或爲偏斜。或於正八字陣。或爲長八字陣。因時制宜。隨地應用。或擊淺深。或捕深溝。以遊兵。故其兵之出入。神出鬼沒。可用以禦外侮。只合之內亂。實不難平之也。(未完)